

2018年度

事業報告書

自 2018年4月 1日
至 2019年3月31日

目 次

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 第1 | 概要 | 1 |
| 第2 | 事業の状況 | 2 |
| 1. | 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業 | 2 |
| 2. | 「日中未来共創プロジェクト」事業 | 7 |
| 3. | 「科学知識の普及・啓発」事業 | 11 |
| 第3 | 会議等 | 15 |
| 第4 | その他の重要事項 | 19 |

【別表】

| | | |
|-----|-----------------------------------|----|
| (1) | 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究） | 21 |
| (2) | 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究） | 30 |
| (3) | 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（海洋・船舶科学研究） | 31 |
| (4) | 2018年度海外発表促進助成対象者一覧表 | 33 |
| (5) | 2017年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表 | 38 |
| (6) | 2018年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表 | 39 |
| (7) | 2018年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表 | 40 |
| (8) | 役員名簿 | 41 |
| (9) | 評議員名簿 | 42 |

第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。

また、中国への図書の寄贈を通じた文化交流については、高まる日本関係図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、国家間の問題を超越して、着実な進展を見せている。

2018年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2018年度笹川科学研究助成は、325件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の展開を支援するため、その研究成果発表を支援し、学術成果の広範な浸透・普及を図った。

2. 日本で収集した教育・研究図書を中国の大学・研究機関に約8万冊の日本関係図書を寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方の「作文コンクール」や「日本知識大会」等を実施することにより、日本と中国における相互理解の促進と友好意識の醸成を目指した。

3. Webサイトの科学実験データベースのコンテンツの追加、科学映像教材を使ったワークショップ等の実施、広く一般に生命科学の基礎知識を身に付けてもらうための本会独自のテキストの制作、経験豊かな科学者による高校生への研究指導（メンター）事業の実施、若手研究者の資質を向上させるためのセミナーの開催等を通じて、様々な角度から広く科学知識の普及・啓発に努めた。

第2 事業の状況

1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：237,366,291円（間接経費を除く）】

本事業は、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施したものである。

(1) 内 容

1) 若手研究者の研究奨励（一般科学研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- ③ 助成件数：246件 ※研究中止2件を含む

[別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究）]

- ④ 助成金額：154,967,798円（1件当たり平均金額635,114円）
- ⑤ 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者

2) 特定分野の研究奨励

① 実践研究助成

- a. 名 称：笹川科学研究助成
- b. 対象領域
 - ・ 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究：
学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究
 - ・ 学芸員・司書等が行う調査・研究：
学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究
- c. 助成件数：29件※研究中止2件を含む

[別表(2) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）]

- d. 助成金額：9,150,169円（1件当たり平均金額338,895円）
- e. 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

② 海洋・船舶科学研究助成

- a. 名 称：笹川科学研究助成
- b. 対象領域：「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」

で、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）

c. 助成件数：50 件※研究中止 1 件を含む

[別表（3）2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（海洋・船舶科学研究）]

d. 助成金額：33,972,832 円（1 件当たり平均金額 693,323 円）

e. 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で研究活動に従事する者であつて、35 歳以下の者（外国人留学生を含む）

| | 対象領域 | 助成件数 |
|------|----------|-------|
| 一般科学 | 人文・社会系 | 32 件 |
| | 数物・工学系 | 30 件 |
| | 化学系 | 43 件 |
| | 生物系 | 103 件 |
| | 複合系 | 38 件 |
| 特定分野 | 海洋・船舶科学系 | 50 件 |
| | 実践系 | 29 件 |

3) 研究成果公表支援

① 海外発表助成（事業名：2018 年度海外発表促進助成）

a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者

b. 助成件数：72 件

c. 助成金額：13,686,341 円（1 件当たり平均金額 190,088 円）

選考基準の見直しを行い、昨年度までは助成対象外であった博士課程の学生を助成対象とし、45 歳未満の者を優先して採択することで、若手への助成枠を広げた。

[別表（4）2018年度海外発表促進助成対象者一覧表]

② 2019 年度「海外発表促進助成」の募集案内および第 1 期助成計画策定

4) 「笹川科学研究奨励賞」の授与

① 名称：笹川科学研究奨励賞

② 対象：2017 年度笹川科学研究助成者から、笹川科学研究助成選考委員会で選出された 16 名（研究領域ごとに 2 名ずつ）。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。

③ 内容：賞状と副賞 10 万円

[別表(5) 2017年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表]

5) 「研究奨励の会」等の開催

2018年4月27日(金)にANAインターコンチネンタルホテル東京において、笹川スポーツ財団と合同で「研究奨励の会」等を開催した。

① 「研究発表会」

笹川科学研究助成奨励賞受賞者による受賞記念発表会を開催した。

② 「研究奨励の会」

2018年度笹川科学研究助成の交付決定通知書を手交した。

③ 「研究者交流会」

若手研究者間の情報交換の会を開催した。



6) 研究助成の推進

① 2019年度笹川科学研究助成計画原案の作成

a. 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会において、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。2019年度は海洋・船舶科学系を廃止し、各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うこととした。

b. 公募

大学、研究機関、学会等約700箇所および博物館、図書館等約600箇所に募集のためのメール配信を行い、広く周知した。また、「海洋・船舶科学系」が無くなり、「海に関係する研究」を重点テーマとしたことに伴い、海洋系学会等でブースを構え周知を行った。

・募集期間：2018年9月18日～2018年10月16日

・応募件数：1,027件の研究計画の申請を受付した。

(学術 979件、実践研究 48件)

c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2019年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

② 2017年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

③ 研究助成実績資料の整備



(2) 事業成果等

笹川科学研究助成では、他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成することで、若手研究者の育成を図っている。自然科学のみならず、人文・社会学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し、研究への意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に貢献しているものである。実践研究では、特定分野の研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展につながることを期待できる。

また、海外発表促進助成では、過去に研究助成を受けた研究者の研究活動を国際的に広めることを促し、その成果を社会に普及させるため、研究発表を支援するものであり、学術成果の広範な浸透及び普及の促進に貢献しているものと考えられる。

特に2018年度は、2017年度から開始したWEB申請について、特殊文字や図表使用の改良を図り申請者の利便性の向上を図った。選考委員からは申請書のレベルが上がっているとの声もあり、時代の流れにあった、申請者目線の申請方法と言えるようになったと考えている。

さらに、海外発表促進助成では、選考基準の見直しを行い、45歳未満のものを優先して採択し、2017年度までは対象外であった博士課程の学生も対象として若手への助成に重点を置いた。その結果、25歳から38歳までの採択者が増加し、以前に受けた笹川科学研究助成の研究課題と連続性あるテーマが増加し、継続的な研究活動への支援につながっているものと考えられる。（「図 海外発表促進助成年齢別採択者数」参照）

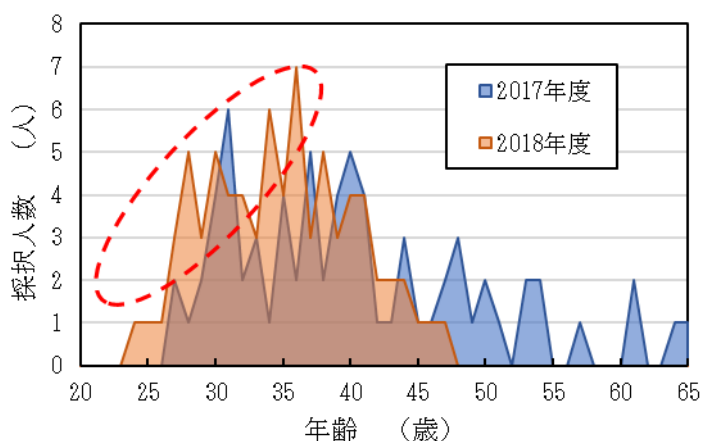


図 海外発表促進助成年齢別採択者数

なお、次年度は、研究者として活躍している過去助成者による企業に対しての研究成果発表会を企画しており、企業と研究者の提携を支援することや、過去助成者のネットワーク構築の場とすることで、兼ねてから指摘のある継続的なフォローアップの強化を計画している。

加えて、もうひとつの課題である研究成果の社会還元を行うためには、一般の人たちにも分かりやすく解説する必要があるため、出版社と研究者のマッチングを支援し、一般科学書を出版することで研究成果を広く知ってもらう工夫を検討している。

2. 「日中未来共創プロジェクト」事業

【事業経費：57,039,382円（間接経費を除く）】

本事業の1)～4)については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、5)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 図書の寄贈・収集

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮のうえ各大学等への寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。

① 図書収集冊数：約36,500冊（提供件数：延べ98件）

② 図書寄贈冊数：84,341冊（寄贈大学数：52大学）

[別表(6) 2018年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表]

2) 「笹川杯全国大学日本知識大会」の開催

中国の若者の対日理解・関心の深化、寄贈図書の活用促進、日本語教育の振興を目的に、中国の大学の日本語学習者を対象として、日本知識を日本語で競う大会を開催した。

① 開催日：2018年11月17日（予選）18日（決勝戦）

② 場 所：北京大学 英傑交流センター「陽光庁」等

③ 参加者：参加109大学（選手各3名/合計327名）

④ 列席者：約500名

⑤ 結果：

a. 団体戦

特等賞 1大学、一等賞 2大学、二等賞 5大学

※特等賞、一等賞受賞大学、開催大学（合計4大学）：日本招聘

但し、開催大学が一等賞を受賞したため、1大学を繰り上げ招聘。

b. 個人戦

特等賞 1名、一等賞 2名、二等賞 3名、三等賞 2名

※特等賞、一等賞、二等賞受賞者（合計6名）：日本招聘

但し、個人戦特等賞受賞者が団体戦一等賞を重複受賞したため、1名を繰り上げ招聘。



3) 作文コンクールの開催

① 笹川杯作文コンクール

中国の若者の対日関心の喚起と対日理解の促進を目的に、人民中国雑誌社との共催により、中国全土の若者を対象として“日本”をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催した。

- a. 実施機関：人民中国雑誌社（作文の募集、審査、広報等）
- b. テーマ：「わたしと日本」、「平和と友好 中日関係の原点と未来」
- c. 対象：16歳～45歳の中国人
- d. 応募総数：1,533点
- e. 審査結果：優勝4点（日本招聘）、二等賞2点、三等賞2点、優秀賞10点

② “本を味わい日本を知る”作文コンクール

図書による日本理解の深化と寄贈図書の活用促進を目的に、上海交通大学図書館との共催により、中国全国の大学の学生を対象に、日本に関する図書の中国語による感想文コンクールを開催した。

- a. 実施機関：上海交通大学図書館（作文の募集、審査、広報等）
- b. 対象：中国全国の大学生、大学院生
- c. 応募総数：1,514点
- d. 審査結果：一等賞5点（日本招聘）、二等賞11点

③ Panda（パンダ）杯全日本青年作文コンクール

a. コンクールの開催

日本の若者の対中関心の喚起と対中理解の促進を目的に、人民中国雑誌社、中国大使館との三者共催により、“中国”をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催した。

- ・実施機関：人民中国雑誌社（作文の募集、審査、広報等）
- ・テーマ：「@Japan わたしと中国」
- ・対象：16歳～35歳の日本人
- ・応募総数：624点
- ・審査結果：優秀賞10点、入選10点、佳作35点

b. 中国訪問プログラムの実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「コンクール」優秀賞者等に訪中の機会を提供し、日本知識大会の観戦、現地の大学生との交流、文化体験、訪問見学、中国外文局での授賞式など広範なプログラムを実施した。

- ・実施時期：2018年11月16日～11月22日（7日間）
- ・訪問先：北京市、成都市



・訪中者：優秀賞、入選受賞者、引率者等 26 名

4) 中国の大学生等の日本招聘プログラムの実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「日本知識大会」優勝者等、「笹川杯作文コンクール」、「本を味わい日本を知る」作文コンクール」の優勝者等を招聘し、日本の若者等との意見交換・交流、文化体験、訪問見学など広範なプログラムを実施した。

① 実施時期：2019 年 2 月 19 日～2 月 26 日（8 日間）

② 訪問先：東京都、沖縄県、滋賀県、京都府、大阪府

③ 招聘者：合計 31 名

a. 「日本知識大会」関係者 20 名（学生 18 名、引率者 2 名）

b. 「笹川杯作文コンクール」関係者 5 名（受賞者 4 名、引率者 1 名）

c. 「本を味わい日本を知る」作文コンクール」優勝者 6 名

5) 「笹川杯日本研究論文コンクール」の開催

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催するとともに、成績優秀者の日本招聘を実施した。

① 共催機関：中国教育部大学日本語専攻教学指導分科委員会、中国日語教学研究会、吉林大学

② 対象：中国全国の大学の日本語専攻学生

③ 応募総数：178 篇

④ 審査結果：特等賞 3 篇、一等賞 3 篇、二等賞 9 篇、三等賞 15 篇、優秀賞 35 篇

⑤ 日本招聘者：4 名（引率者 1 名を含む）

※上記 4) の日本招聘プログラムと合同実施

(2) 事業成果等

「笹川杯全国大学日本知識大会」における日中交流イベントに際し、Panda 杯訪中団は大会会場を訪れ、大会観戦や大会参加者との交流を行ったが、訪中団にとって、中国の大学生の日本に対する知識や思いの深さを認識する機会となったばかりでなく、大会参加者にとっても、日本の若者の中国への関心や思いの深さを認識する機会となり、その後の交流活動のきっかけとなったと期待できる。

日本招聘に係るプログラムの一環として実施した日中交流イベント（「日中討論会」、東京散策）については、過去最多となる 50 名余の日本側有志学生の参加を得て開催したが、日中相互理解と友好を深化する機会となったばかりではなく、将来の両国関係の担い手としての使命感を両国の若者が共有する機会となった。さらに、本交流イベントについては、Panda 杯訪中団員を中心とした日本側有志大学生の企画・運営により実施

したが、彼らにとって国際交流イベントを企画・実践する機会であり、国際人材の育成にも繋がったと期待できる。

「Panda 杯全日本青年作文コンクール」については、本年度で事業開始から 5 年目となるが、中国語検定試験機関（HSK）と提携した募集告知、フェイスブックによる情報発信、講習会の開催、協力者の開拓など応募呼びかけ活動を積極的に行い、「コンクール」に対する関心の喚起、理解の促進を図り、前年度実績 498 点の 25% 余増となる 624 点の応募を獲得することができた。

「笹川杯日本研究論文コンクール」は、日本語能力のみならず総合力のある日本語人材の育成を目指す中国教育部の日本語教育の新方針に沿ってスタートした新規事業であるが、専門研究と論文執筆、研究成果発表の機会を提供することにより、中国の日本語専攻学生の日本に対する理解の深化、専門研究・発表の能力の向上が図られ、将来の日中関係のキーパーソンとなる日本語人材の育成に繋がった。さらに、中国教育部が推進する大学の日本語教育の新展開を後押しするものになったと期待できる。

なお、広範な機関や個人に対し CSR の一環として本プロジェクトへの支援を依頼してきたが、国際貢献の観点から日本では 1 個人より 500,000 円の寄附金提供、1 出版社から新刊図書約 11,000 冊（定価合計約 9,700,000 円）を受けたほか、中国では 1 企業に「“本を味わい日本を知る”作文コンクール」開催経費の一部[20,000 円（330,000 円 / 1 元 = 16.5 円換算）]を協賛金として分担願った。また、「笹川杯全国大学日本知識大会」に関しても、中国の 1 出版社より 2018 年度の大会パンフレット 560 部[7,210 円（約 120,000 円）]及び過去 6 年間の全国大会「問題集」2,500 部[約 43,570 円（約 720,000 円）]を無償出版願うなどの協力を得た。

一方、図書収集では、図書の厳選、広範な図書提供依頼を主な方針に質・量を兼ね備えた図書収集を目指したが、質の面では目標を達成することができたが、収集冊数は 36,500 冊と収集目標（150,000 冊）の 24% 弱にとどまった。今後は、新たな提供源を開拓するとともに既提供者には継続的な依頼活動を行い、収集量の拡大を図る必要がある。図書寄贈では、図書輸出に際した中国側内容審査の厳格化とこれに伴う寄贈業務の煩雑化等により、輸出回数と輸出数量が伸び悩み、寄贈冊数は合計 84,341 冊と寄贈目標（150,000 冊）の 56% にとどまった。今後は、審査機関との連絡を密にするとともに審査機関や寄贈先大学の各スケジュール（夏期・冬期休暇、春節など長期休暇時は受入不可）を勘案し、効率的で迅速な寄贈業務遂行に努める必要がある。

3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：23,395,116円（間接経費を除く）】

本事業の1)～3)については、モーターボート競走法制定40周年記念基金事業として、4)5)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 科学実験データベースの公開

広く世界で活用されている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースをWebサイト上で広く公開した。

① 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会

② 公開内容

a. 新規データの追加：

原体験コラムに24点、科学実験データベースに24点を追加した

b. 動画の追加：

分かりやすく安全に実験を行えるように、動画を追加した

2) 地球科学の理解促進

本会で制作した短編映像「Cubic Earthーもしも地球が立方体だったらー」を用いて、学校教育・社会教育における学びの場でワークショップ等を実施し、地球科学の理解促進に努めた。

① 出前講義に係る講演

「海の出前授業」情報交換会にて「立方体地球」の出前講義に係る講演を行った。

a. 開催日：2018年9月25日

b. 参加者：約40名

c. 講 師：木村龍治氏（東京大学名誉教授）

d. 主 催：日本海洋学会

② ワークショップ等の実施

a. ワークショップの開催

「もしも地球が立方体だったら」というテーマで科学的な視点から地球環境について考える機会を提供することにより、受講者の地球の未来をデザインする能力の向上を図った。

・開催日：2018年4月20日

・参加者：45名（美術学部デザイン科3年生）

・講 師：木村龍治氏（東京大学名誉教授）



- ・ナビゲーター：今泉真緒氏（株式会社ダズ）
- ・場 所：東京藝術大学

b. 科学体験講座の実施

気象に関する科学実験や「もしも地球が立方体だったら」の科学動画鑑賞を通して、難解となりがちな科学をわかりやすく身近な形で小中学生に伝えた。

- ・名 称：「まなぼう！地球と気象のふしぎ」
- ・開催日：2018年8月21日
- ・参加者：約80名（保護者含む）
- ・講 師：名越利幸氏（岩手大学教育学部理科教育科教授）
- ・場 所：日本科学未来館

3) 高校生のためのサイエンスメンタープログラム

科学好きな理系高校生の課題研究に対し、その分野の専門家等から学校教育の枠にとらわれない研究指導を行った。

- ① 件 数：19件
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じて実地指導や電話・ビデオ対話等で指導を行う。
- ③ 期 間：2018年9月～2019年3月 又は 2019年8月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
 - a. 開催日：2019年3月24日
 - b. 場 所：多摩永山情報教育センター
 - c. 内 容：4名が研究発表を行い、プログラムを終了した。なお15名は2019年8月まで研究を継続予定。

[別表（7）2018年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]

4) 生命科学テキスト「人間の生命科学」プロジェクト

生命科学に関する基礎知識を授けるため、従来の教科書とは異なる発想で「生物としての人間」を軸にした生命科学の副読本を制作した。

2018年度は、テキストの普及活動年度と位置づけ、トライアル授業の継続と評価を進めると同時に、テキストの改訂や授業での使い方の改善、提案を通じてテキスト試用の普及活動を推進した。

① ePub版の完成：

2018年5月に6部（26章、執筆者13名）構成の電子図書の改訂作業が完了した。なお、本教材は、図版の権利などの関係から、教育機関内での教育目的使用でのみの副教材として提供している。

② Web版の完成：

国立情報学研究所高野研究室が開発した「連想検索システム」を活用し、従来の教科書にはないキーワード検索機能やサイドノート機能等、ユニークな機能を持ったWeb教材を制作した。

③ トライアル授業のPRと実施：

テキストを利用したモニター参加者を募り、チラシの配布、説明会等を実施した。
(大学 11名、専門学校 1名、高等学校 40名 計 52名)

④ トライアル授業モニター参加者のフィードバック調査：

2018年度の授業モニター参加者から使用状況及び評価について情報収集した。

5) 科学隣接領域の研究

自然科学の枠を超えた領域の専門家が集まり、宗教、倫理、アートを切り口に科学研究や研究者について議論と考察を重ね、若手研究者の育成について討議したアウトプットとして、講演会・出版などを通して、研究者自身の専門分野の研究のみならず、総合的な視野を持った「創造的な研究者」への育成を目指した。

2018年度は「科学と宗教」に関する出版と、それに伴うセミナーを開催し、「科学と倫理」に関する研究会を開催した。

① 出版とセミナーの実施

昨年度から準備を進めていた、「科学と宗教」をテーマに開催したセミナーの様子をまとめた書籍「科学と宗教 対立と融和のゆくえ」を出版した。(2018年4月25日)

また、出版した書籍を通して「科学と宗教」について、より知識を深めることを目的に、著者である、伊東俊太郎氏、植木雅俊氏による出版記念セミナーを開催した。

- a. セミナー名：「出版記念セミナー」
- b. 開催日時：2018年5月19日(土) 13:00~16:30
- c. 参加者：113名(研究者、学生、その他社会人等)

② 研究会の開催

- a. テーマ：「科学と倫理」
- b. 開催回数：1回(2019年1月24日)
- c. 内容：事業計画と今後の活動について
- d. 参加者：研究会メンバー



(2) 事業成果等

「科学実験データベースの公開」では、学校等で実験を行いたいという問い合わせや、動画への反響が特に大きく、テレビで使用したいという相談もあった。次年度にはホームページの大幅な更新を計画し、学校の教職員等向けの検索方法を増やすことなども検討中であり、最良の情報となるよう常に更新を行っていく。

「地球科学の理解促進」では、本会が作成した「立方体地球-もしも地球が立方体だったら-」を使ったワークショップ等を行い、一般の方等へ地球科学に対する興味関心を喚起するきっかけとなった。

「高校生のためのサイエンスメンタープログラム」は、高校生が普段では会えないような大学の先生等にメンターとなってもらうことで、その後の進路等に影響を与えるとともに、本事業のOBが学会誌に論文を公表し、賞を受賞するなど、その後の研究活動にも大きな影響を与えている。2019年度以降は、より科学への興味関心が高い高校生等を発掘するために、従来の年1回の募集から通年募集へ切り替え、応募の門戸を広げていく。

「生命科学テキスト『人間の生命科学』プロジェクト」では、制作したテキストをどのように教育現場で利用できるかの「トライアル」期間として実施したところ、副教材として高く評価され、テキストの構成や図版等も好評であった。2019年度以降は、アンケート結果を反映させた改訂や、申請システムの構築、コンテンツの追加等を行うとともに、本格的な実施・運用を行う。さらに、制作したテキストの成果をどのように効果測定していくのかの手法について、教育学等の専門家の意見を聴取し、検討していきたい。

科学隣接領域の研究で実施した「出版記念セミナー」では、アンケート（82件/113件回収）の結果、90%以上の方が「とてもよかった」「良かった」と回答があり、「科学と宗教」というテーマについて幅広い層の方々に参加していただくことができた。課題は研究者の参加者（今回出席者15名）を増やすこと。「宗教」「倫理」「アート」にスポットを当ててるのではなく、「科学隣接領域」ということを意識することにより、研究者に興味を持ってもらい参加者増加につなげていきたい。

第3 会議等

(1) 理事会

1) 第20回理事会

① 開催年月日：2018年5月25日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2017年度事業報告及び決算報告書の承認に関する件
全会一致で承認
- b. 第2号議案 第8回評議員会の開催に関する件
全会一致で可決

2) 第21回理事会

① 開催年月日：2018年6月15日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選定に関する件
全会一致で次の通り可決
会 長（代表理事） 大島 美恵子
常務理事（業務執行理事） 石倉 康弘
常務理事（業務執行理事） 佐々木 文君
- b. 第2号議案 代表理事及び業務執行理事の報酬額に関する件
全会一致で可決
- c. 第3号議案 非常勤役員の退職慰労金の支給に関する件
全会一致で可決
- d. 第4号議案 その他（業務執行理事の退職慰労金の支給係数に関する件）
全会一致で可決

3) 第22回理事会

① 開催年月日：2019年3月18日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2019年度事業計画及び収支予算の承認に関する件
全会一致で承認
- b. 第2号議案 職員就業規則及び育児・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件
全会一致で可決

なお、役員の名簿については〔別表（8）役員名簿〕のとおり

(2) 評議員会

1) 第8回評議員会

① 開催年月日：2018年6月15日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2017年度決算報告書の承認に関する件
全会一致で承認
- b. 第2号議案 理事の選任に関する件
全会一致で次の通り可決
新任：石倉 康弘
重任：大島美恵子、佐々木文君、川口 春馬、木村 龍治、
高橋 正征、山崎 壮、和崎 春日
- c. 第3号議案 監事の選任に関する件
全会一致で次の通り可決
重任：菅井 明則
- d. 第4号議案 その他（業務執行理事の退職慰労金支給額に関する件）
全会一致で可決

なお、評議員の名簿については [別表（9）評議員名簿] のとおり

(3) 各種委員会

1) 笹川科学研究助成事業委員会

| 開催年月日 | 議事事項 |
|---------------------------|--|
| (第 65 回) 2018 年 8 月 3 日 | 2019 年度笹川科学研究助成の公募について |
| (第 66 回) 2018 年 11 月 13 日 | 2019 年度笹川科学研究助成の選考方針の策定 |
| (第 67 回) 2019 年 2 月 6 日 | 1 2019 年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2019 年度海外発表促進助成の募集について |

2) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

| 領 域 | 開催年月日 | 議 事 事 項 |
|----------|------------------|--|
| 数物・工学系 | 2018 年 12 月 4 日 | 2019 年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について |
| 化学系 | 2018 年 11 月 29 日 | |
| 生物 (A) 系 | 2018 年 12 月 4 日 | |
| 生物 (B) 系 | 2018 年 12 月 13 日 | |
| 複合系 | 2018 年 12 月 3 日 | |
| 海洋・船舶科学系 | 2018 年 12 月 7 日 | |
| 実践系 | 2018 年 11 月 27 日 | |
| 人文・社会系 | 2019 年 1 月 18 日 | 2019 年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について |
| 実践系 | 2019 年 1 月 15 日 | |
| 人文・社会系 | 2019 年 3 月 15 日 | 2018 年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について |
| 数物・工学系 | 2019 年 3 月 4 日 | |
| 化学系 | 2019 年 3 月 5 日 | |
| 生物 (A) 系 | 2019 年 2 月 25 日 | |
| 生物 (B) 系 | 2019 年 3 月 12 日 | |
| 複合系 | 2019 年 3 月 7 日 | |
| 海洋・船舶科学系 | 2019 年 3 月 1 日 | |
| 実践系 | 2019 年 2 月 25 日 | |

3) サイエンスメンター事業委員会

| 開催年月日 | 議事事項 |
|------------------|--|
| (第5回) 2018年6月11日 | 1 2018年度1次審査について 2 書類選考 3 2018年度サイエンスメンタープログラム2・3次審査について |
| (第6回) 2019年1月28日 | 2019年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について |

第4 その他の重要事項

(1) 内閣府

| 年月日 | 内 容 |
|------------|------------------------|
| 2018年6月26日 | 2017年度における事業報告等を提出した。 |
| 2018年7月9日 | 役員等の改選に係る変更届出書を提出した。 |
| 2019年3月29日 | 2019年度における事業計画書等を提出した。 |

(2) 日本財団

| 年月日 | 内 容 |
|----------------|--|
| 2018年4月1日 | 日本財団と2018年度事業について助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流（公益） ・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋） ・日中未来共創プロジェクト（公益） ・日中未来共創プロジェクト（海洋） ・日本の科学振興等に関する環境整備（公益） ・日本の科学振興等に関する環境整備（海洋） |
| 2018年4月9日 | 2018年度における笹川科学活性化基金の取崩しに係る承認申請を行った。 |
| 2018年5月8日 | 2017年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。 |
| 2018年5月24日 | 2018年度における笹川科学活性化基金の一部取崩しの承認を受けた。 |
| 2018年10月10日 | 2019年度事業実施のため、日本財団への助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋） ・科学振興のための研究助成と研究交流（公益） ・日中未来共創プロジェクト（海洋） ・日中未来共創プロジェクト（公益） ・日本の科学振興等のための環境整備（海洋） ・日本の科学振興等のための環境整備（公益） |
| 2019年2月13日・15日 | 日本財団監査グループによる2017年度助成事業の監査が行われた。 |

(3) その他

| 年月日 | 内 容 |
|-------------|--|
| 2018年11月24日 | 独立行政法人国立青少年教育振興機構「平成30年度子どもゆめ基金」に次のイベントの助成申請をした。 ・「まなぼう！「地球」と「大気」の不思議 |

別表（1）2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究）

（単位：円）

| No. | 審査区分：名称 | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|--------|-----------------------------------|----------|---|---------|
| 1 | 人文・社会 | 佐藤 未央子 | 早稲田大学文学学術院 | 客員次席研究員 | 日本近代文学者の映画言説と受容に関する研究 一映画データベースの構築と新たなメディア史の編成に向けて一 | 250,000 |
| 2 | 人文・社会 | 黄 潔 | 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科東南アジア地域研究専攻 | 博士課程5年 | 西南中国トン族の「カン」組織に関する研究 -華南・東南アジアのタイ系民族の前近代、記憶と現在- | 640,000 |
| 3 | 人文・社会 | 蘇 浩 | 関西大学大学院東アジア文化研究科文化交渉学 | 博士後期課程2年 | 明治・大正期の日本書家と中国、台湾の書道界-山本竟山と長尾雨山を中心に | 550,000 |
| 4 | 人文・社会 | 佐藤 稜介 | 京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻 | 博士後期課程4年 | 戦国期京都における宗教秩序の変容と再構築 一権門寺院の検討を通して一 | 400,000 |
| 5 | 人文・社会 | 関根 知良 | 筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻 | 博士課程5年 | 康熙初年における清朝とハルハの関係 一ハルハの誓約違反や逃亡者に関する問題を巡って一 | 400,000 |
| 6 | 人文・社会 | 豊島 ゆう子 | 東北大学大学院文学研究科文化科学専攻中国思想中国哲学専攻分野 | 博士後期課程3年 | 『明儒学案』の明代思想史観 一明代中期から清初にかけての伝記編纂物との比較及び理学伝論争を手がかりに | 500,000 |
| 7 | 人文・社会 | 澤浦 亮平 | 沖縄県立博物館・美術館 | 主事 | 旧石器時代の狩猟活動復元への新視点 -大型シカ類化石を対象とした領域横断的な動物考古学研究- | 600,000 |
| 8 | 人文・社会 | 宮尾 亮甫 | 早稲田大学法学学術院法学部 | 助手 | 行政制裁の機能と構造に関する日・スイス比較研究 | 250,000 |
| 9 | 人文・社会 | 飯島 孝良 | 真宗大谷派親鸞仏教センター | 嘱託研究員 | 一休の「像」の文化史的研究 -室町期から近現代における「禪」イメージの形成史として- | 550,000 |
| 10 | 人文・社会 | 青木 敬 | 京都外国語大学国際言語平和研究所 | 嘱託研究員 | カーボ・ヴェルデ人の音楽的アイデンティティに関する研究 | 700,000 |
| 11 | 人文・社会 | 柏原 洋太 | 中央大学大学院文学研究科日本史学専攻 | 博士後期課程4年 | 明治国家形成過程をめぐる行政文書のアーカイブズ学的研究 | 583,029 |
| 12 | 人文・社会 | 濱田 恭幸 | 大阪大学大学院文学研究科文化形態論専攻 | 博士後期課程3年 | 明治地方自治制度下における府県区画の確定と鉄道敷設 | 600,000 |
| 13 | 人文・社会 | 久島 桃代 | お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 | 特別研究員 | 土・草・モノ・人 -それぞれの〈いのち〉の環（わ）からのライフストーリー- | 350,000 |
| 14 | 人文・社会 | 上岡 清乃 | 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻 | 修士課程3年 | 学習障害のある生徒に対する認知特性に応じた段階的・体系的な英語学習指導モデル構築の試み | 600,000 |
| 15 | 人文・社会 | 出口 奈緒子 | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 | 博士後期課程3年 | 自閉症スペクトラムのある夫を持つ妻の結婚生活の始まり 一再形成モデル構築に向けた基礎的研究 | 550,000 |
| 16 | 人文・社会 | 野村 雄紀 | 神戸大学大学院人文学研究科社会動態専攻西洋史学教育研究分野 | 博士後期課程3年 | 17世紀前半ヴェネツィア共和国における中央・地方間交渉 一監査審問官巡察時のプレシア地方の反応から一 | 450,000 |
| 17 | 人文・社会 | 仲田 侑加 | 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻 | 博士後期課程3年 | 近世京都における尼寺の機能と尼僧の実態 一尼寺所蔵の史料を素材に一 | 250,000 |
| 18 | 人文・社会 | 佐崎 愛 | 東北大学大学院文学研究科人間科学専攻宗教学専攻分野 | 博士後期課程1年 | 日本におけるハリストス正教の受容と現状 一死者の「供養」と「記憶」を巡って一 | 600,000 |
| 19 | 人文・社会 | 横山 未来 | 早稲田大学大学院文学研究科考古学コース | 修士課程2年 | カンボジアにおける先アンコール時代土器の基礎資料構築 | 700,000 |
| 20 | 人文・社会 | 太田 和彦 | 総合地球環境学研究所 FEAST プロジェクト | 研究員 | 土壌の審美的価値（センス・オブ・ワンダー）の提示が地域の土壌資源の包括的・長期的保全に果たす機能 | 450,000 |
| 21 | 人文・社会 | 二文字屋 脩 | 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター | 講師 | 「遊動的社会的性」の構築に向けた人類学的研究：タイ北部・狩猟採集民ムラブリの非自発的定住化を事例として | 500,000 |
| 22 | 人文・社会 | 田中 志歩 | 香川大学大学院教育学研究科教育専攻 | 博士前期課程2年 | バングラデシュの少数民族クミ族の学校教育制度受容 | 630,000 |
| 23 | 人文・社会 | 李 薇 | 花園大学国際禅学研究所 | 客員研究員 | 律蔵経分別における判定事例集の研究 -「根本説一切有部律」を中心として- | 700,000 |
| 24 | 人文・社会 | 森 結 | 九州大学大学院人文科学府人文基礎専攻藝術学専修 | 博士課程4年 | 教皇領都市としての視覚的戦略：オルヴィエート大聖堂サン・ブリツィオ礼拝堂再解釈 | 700,000 |
| 25 | 人文・社会 | 植松 苑子 | 東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻 | 博士後期課程2年 | 15世紀クラクフの彫刻に見る美術受容と展開 -南北交易と都市交流の視点から- | 750,000 |
| 26 | 人文・社会 | 望月 美希 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 | 博士課程4年 | 東日本大震災後の地域社会における〈共同性〉の復興 一津波被災をうけた沿岸部の限界集落化に着目して一 | 508,718 |
| 27 | 人文・社会 | 久保 亮輔 | 一橋大学大学院経済学研究科経済史・地域経済専攻 | 博士後期課程2年 | マムルーク朝期カイロの修道場の運営実態の解明：ワックフ設定文書、『慈善台帳』、『軍務台帳』の検討から | 750,000 |

別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(一般科学研究)

(単位:円)

| No. | 審査区分:名称 | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|----------------|----------------------------------|------------|---|---------|
| 28 | 人文・社会 | 杉山 由里子 | 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻 | 博士課程4年 | 狩猟採集民ブッシュマンの再定住に伴う葬儀の変容と社会再編に関する研究 | 700,000 |
| 29 | 人文・社会 | 奥井 剛 | 京都大学大学院総合生存学館(思修館)総合生存学(公共哲学) | 博士課程5年 | 公的領域の復権をめぐる実践哲学の研究ーバングラデシュの住民参加型農村開発プロジェクトを事例にー | 0 |
| 30 | 人文・社会 | Arildii Burmaa | 大谷大学大学院文学研究科国際文化専攻 | 博士後期課程4年 | 「モンゴルにおけるチベット仏教思想受容の基礎的研究」 | 450,000 |
| 31 | 人文・社会 | 早川 千尋 | 名古屋大学大学院生命農学研究科森林・環境資源科学専攻 | 博士前期課程1年 | 女性主導の森林管理と REDD+への応用~ネパールコミュニティフォレストを事例に~ | 370,000 |
| 32 | 人文・社会 | 熊坂 聡美 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻 | 博士後期課程3年 | 北魏時代の仏教造像に関する研究ー雲岡石窟第2期諸窟を中心にー | 230,000 |
| 33 | 数物・工学 | 今 智彦 | 福井大学大学院工学研究科総合創成工学専攻 | 博士後期課程3年 | 色相判別を用いた潤滑油プロアクティブ診断法の開発 | 720,000 |
| 34 | 数物・工学 | 王 建 | 物質・材料研究機構 | ICYS 千現研究員 | 次世代超高密度のためのエネルギーアシスト磁気記録媒体の開発 | 740,000 |
| 35 | 数物・工学 | 佐藤 繭子 | 明治大学大学院先端数理科学研究科ネットワークデザイン専攻 | 博士前期課程2年 | スマートコミュニティ全体最適化による低炭素化, エネルギー消費やエネルギーピーク時負荷削減の実現 | 660,000 |
| 36 | 数物・工学 | 遊佐 泰紀 | 東京理科大学理工学部機械工学科 | 助教 | クラスタコンピューティングによる実溶接構造の大規模並列溶接シミュレーションの実現 | 700,000 |
| 37 | 数物・工学 | 沼田 和臣 | 東京学芸大学 | 個人研究員 | 特異的に強いセシウム吸着現象の分子論的解明と二酸化炭素固定化材としての再利用に向けた応用研究 | 700,000 |
| 38 | 数物・工学 | 森本 勝大 | 富山大学大学院理工学研究部(工学) | 助教 | 有機強誘電体を利用した有機半導体層へのキャリア注入 および2次元分極場による異種キャリア注入 | 740,000 |
| 39 | 数物・工学 | 横田 信英 | 東北大学電気通信研究所 | 助教 | スピン制御面発光半導体レーザーを用いた位相変調信号発光光源の研究 | 750,000 |
| 40 | 数物・工学 | 前蔵 貴行 | 九州大学大学院総合理工学府量子プロセス理工学専攻 | 博士後期課程3年 | 低消費電力・高速処理に向けた ULSI 内チップ間光配線用 Ge 発光・受光素子の開発 | 440,000 |
| 41 | 数物・工学 | 阿部 翠空星 | 大阪市立大学数学研究所 | 専任研究員 | ハンドル体結び目の彩色数不変量と量子不変量の深化と統一 | 410,000 |
| 42 | 数物・工学 | 牛場 崇文 | 東京大学宇宙線研究所重力波観測研究施設 | 特任研究員 | 極低温環境下における高ダイナミックレンジ光ローカル変位センサーの開発 | 750,000 |
| 43 | 数物・工学 | 勝又 航生 | 東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 | 修士課程2年 | 非侵襲な生体計測による人間の視覚・聴覚の注意方向の推定に関する研究 | 700,000 |
| 44 | 数物・工学 | PARK MINJEONG | 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 | 博士課程2年 | ハンセン病療養所における患者住宅と生活環境の変遷に関する研究 -国立療養所長島愛生園を事例に- | 600,000 |
| 45 | 数物・工学 | 堀端 頌子 | 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 | 博士後期課程3年 | 関節液および軟骨内流体の挙動が軟骨の潤滑特性に及ぼす影響 | 643,851 |
| 46 | 数物・工学 | 加藤 優 | 筑波技術大学大学院技術科学研究科産業技術学専攻 | 修士課程2年 | 聴覚障害児の環境音認知のために聴覚的記憶形成を支援するシステム | 740,000 |
| 47 | 数物・工学 | 森山 大樹 | 東京農工大学大学院工学府物理システム工学専攻 | 博士前期課程2年 | 高強度フェムト秒レーザーによるシリコンへの表面プラズモンの励起に関する基礎研究 | 600,000 |
| 48 | 数物・工学 | 重松 圭 | 東京工業大学フロンティア材料研究所 | 助教 | 高圧安定四重ベロブスカイト CeCu3Mn4O12 の薄膜化による磁気異方性制御とスピントロニクス応用 | 700,000 |
| 49 | 数物・工学 | 宇留野 彩 | 早稲田大学先進理工学部電気・情報生命工学科 | 講師 | 2段階近接昇華法で作製した銀ガリウムテルルの電子構造の解明と新しい太陽電池構造の開発 | 660,000 |
| 50 | 数物・工学 | 板倉 真博 | 千葉工業大学大学院工学研究科機械サイエンス専攻 | 博士前期課程2年 | 半導体 Si-Ge 融体の表面張力に対する雰囲気酸素分圧の影響 | 750,000 |
| 51 | 数物・工学 | 猪瀬 智也 | 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻医用物理学分野 | 博士後期課程1年 | がんの多機能造影および治療用金ナノロッド/シリカ複合ナノ粒子の開発 | 660,000 |
| 52 | 数物・工学 | 櫻庭 崇紘 | 豊橋技術科学大学院工学研究科機械工学専攻 | 博士後期課程3年 | ぜんまいによるブレーキ回生を用いた産業機械装置の設計と実験検証 | 700,000 |
| 53 | 数物・工学 | 大野 遼 | 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 | 博士後期課程2年 | 隕石中シリカ鉱物に着目した地球型天体地殻の形成および進化過程の解明 | 660,000 |
| 54 | 数物・工学 | 遠藤 雅実 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 | 博士後期課程3年 | 東京湾奥部の干潟・浅場における青潮水塊の動態と底生生物に与える影響の解明 | 750,000 |
| 55 | 数物・工学 | 片上 智史 | 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 | 博士後期課程2年 | スロー地震は面的に発生するのか、それともある幅を持ったゾーンとして発生するのか? | 480,000 |
| 56 | 数物・工学 | Saini Shrikant | 九州工業大学工学部機械知能工学科 | 博士研究員 | MOD 法による二次元カルコゲナイド熱電薄膜の作製 | 700,000 |

別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(一般科学研究)

(単位:円)

| No. | 審査区分:名称 | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|--------------------------|--------------------------------------|-------------|--|---------|
| 57 | 数物・工学 | 前田 龍生 | 宇都宮大学大学院工学研究科機械知能工学専攻 | 博士前期課程2年 | スキージャンプスーツ生地を通気量と空力の関係解明と飛距離最大を目指した高性能スーツの提案 | 650,000 |
| 58 | 数物・工学 | 余 希 | 名古屋工業大学大学院物理工学専攻 | 博士後期課程1年 | 超短パルスレーザー加工によるモスアイ型テラヘルツ波反射防止構造の作製 | 790,000 |
| 59 | 数物・工学 | 久保田 充紀 | 大阪大学大学院理工学研究科物理学専攻 | 博士後期課程1年 | バリオン数非対称性を説明する模型がもたらすCPの破れのヒッグス粒子への効果と将来精密実験による検証 | 640,000 |
| 60 | 数物・工学 | 村松 大陸 | 東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 | 助教 | 920MHz帯ISMバンド利用 Wireless Body Area Network 物理層の統合的研究 | 790,000 |
| 61 | 数物・工学 | 秋葉 祐里 | 山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻地域環境マネジメントコース | 修士課程2年 | 亀裂パターンを司る共通法則の探求～乾燥土壌から冷却マグマまで～ | 440,000 |
| 62 | 数物・工学 | 駒田 盛是 | 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻 | 博士後期課程2年 | ワイル半金属におけるパルス強磁場や精密な磁場方位制御機構を用いた量子輸送特性研究 | 650,000 |
| 63 | 化学 | Kaweewan Issara | 静岡大学創造科学技術大学院バイオサイエンス専攻 | 博士課程1年 | ゲノムマイニングを基盤としたペプチド性生理活性物質の単離と構造決定 | 970,000 |
| 64 | 化学 | 藤井 翔太 | 北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 | 特任研究員 | アミノ酸含有側鎖型両親媒性ポリマーによるタンパク質模倣表面の構築と薬剤キャリアとしての応用 | 920,000 |
| 65 | 化学 | 宮川 晃尚 | 東京工業大学大学院理学院化学系 | 博士課程2年 | ゼプトモル計測を可能にする超音波センシング | 810,000 |
| 66 | 化学 | 木下 雄介 | 立命館大学生命科学部応用化学科 | 助教 | 天然産(バクテリア)クロロフィル色素類のゲル化能の検討 | 630,000 |
| 67 | 化学 | 山澤 千恵子 | 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科物質合成化学専攻 | 博士後期課程1年 | 多彩な含ヒ素縮環型共役系の構築に基づく機能性ヒ素化学解明 | 970,000 |
| 68 | 化学 | 久野 温子 | 立命館大学大学院生命科学研究所生命科学専攻 | 博士後期課程1年 | トポロジー制御を指向したアニオン応答性 α 電子系の創製とその利用 | 600,000 |
| 69 | 化学 | 石川 慎吾 | 東京医科大学医学部医学科化学教室 | 助教 | リグニンの効率的な化学リサイクルを目指した新奇NHC触媒の開発 | 490,000 |
| 70 | 化学 | 柳本 剛志 | 徳島文理大学大学院薬学部薬学研究科 | 博士課程2年 | 多重薬理活性発現を指向した新奇骨格を有する新規神経再生型アルツハイマー病治療薬の開発 | 642,478 |
| 71 | 化学 | 朴 貴煥 | 岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻 | 博士課程1年 | 不均一系白金族触媒を用いた簡便重水素標識化法の開発 | 970,000 |
| 72 | 化学 | 西野 晃太 | 東京理科大学大学院理工学部先端化学科 | 博士課程3年 | 持続可能な社会の実現を指向した単体硫黄の高度利用を可能とする有機化学反応の開発 | 789,869 |
| 73 | 化学 | 田中 俊一 | 京都府立大学生命環境科学研究科 | 准教授 | X線結晶構造解析によって解明する、抗体ミミックペプチドが酵素の基質特異性を改变する分子メカニズム | 490,000 |
| 74 | 化学 | 橋川 直人 | 千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻 | 修士課程2年 | Benzo[c]naphtho[2,1-p]chrysene 誘導体の合成および物性評価 | 535,194 |
| 75 | 化学 | Fernando Arteaga Arteaga | 北海道大学国際連携機構理化学部 | 助教 | バイメタリック共同触媒による不斉(アリル-アリル)クロスカブリング反応の開発 | 700,000 |
| 76 | 化学 | 名倉 椋 | 神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻 | 博士前期課程2年 | シクロアレン前駆体の新規短段階合成法の確立と触媒反応への応用 | 810,000 |
| 77 | 化学 | 松並 明日香 | 青山学院大学理工学部化学・生命科学科 | 助教 | イリジウム触媒を用いる新規合フッ素複素環化合物の合成 | 550,000 |
| 78 | 化学 | 福田 和男 | 昭和薬科大学薬学部 | 特任助教 | 糖認識能を有する大環状芳香族アミド分子の構築 | 700,000 |
| 79 | 化学 | Elaine Mission | 熊本大学大学院自然科学研究科 | 博士課程3年 | バイオマス有効利用のためのマイクロ波を用いた炭素系触媒の開発 | 550,000 |
| 80 | 化学 | 亀岡 大真 | 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科東南アジア専攻 | 博士課程4年 | 火災の影響評価の精度向上に向けた「泥炭火災」の特徴の解明～インドネシア・リアウ州を事例として～ | 400,000 |
| 81 | 化学 | 大原 基義 | 北里大学大学院感染症制御科学府感染制御科学専攻 | 博士後期課程1年 | 酵素結束システカリン-マクロライド融合天然物のリレー全合成、構造活性相関と活性スイッチング機構の解明 | 600,000 |
| 82 | 化学 | 萩原 敬人 | 信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻 | 博士課程1年 | 高密度官能化ポリマーの創製を目指したドミノ反応型モノマーの開発 | 700,000 |
| 83 | 化学 | 石川 大輔 | 首都大学東京大学院都市環境科学研究科附属金の化学研究センター | 特任助教 | DNA ナノ空間に金触媒と酵素を精密に配列させた動的人工代謝系の創出 | 790,000 |
| 84 | 化学 | 南條 毅 | 京都大学大学院薬学研究科 | 特定助教 | カルボン酸の酸化的脱炭酸反応の開発と中・大分子の効率的合成への応用 | 700,000 |
| 85 | 化学 | 上田 篤志 | 長崎大学生命医科学域 | テニュアトフラック助教 | ジ置換アミノ酸をレギュレーターとする γ -ヘリカルペプチドの創製 | 440,000 |

別表（1）2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究）

（単位：円）

| No. | 審査区分：名称 | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|---------------|---|----------|---|-----------|
| 86 | 化学 | 菊田 健司 | 九州大学大学院薬学府創薬科学専攻 | 博士後期課程3年 | 人工核酸による部位特異的RNA化学修飾反応の開発と遺伝情報編集技術への展開 | 600,000 |
| 87 | 化学 | 小川 直希 | 京都大学大学院薬学研究科薬科学専攻 | 博士後期課程1年 | 縮環アズレンを核とする多環芳香族炭化水素の創生とその応用 | 810,000 |
| 88 | 化学 | 末永 信 | 信州大学大学院総合工学系研究科物質創成科学専攻極限材料工学部門 | 博士課程2年 | セルロースの自己組織化を活用した添加剤を一切用いない新奇ハイドロゲル調製 | 470,423 |
| 89 | 化学 | 松川 祐子 | 九州大学大学院工学府物質創造工学専攻 | 博士後期課程1年 | 非水系反応によるコバルト非酸化ナノ粒子の結晶構造および形態制御 | 600,000 |
| 90 | 化学 | 田中 淳也 | 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星システム講座地球惑星物質学グループ | 博士後期課程1年 | 炭酸マグネシウム形成プロセスの解明 -マグネシウムイオンの水和が相形成に与える影響- | 366,795 |
| 91 | 化学 | 森 崇理 | 山陽小野田市立山口東京理科大学工学部応用化学科 | 嘱託助教 | 二元遷移金属触媒系が導く新合成戦略：プロトン共役電子移動を介した還元的アルキル化反応の創出 | 970,000 |
| 92 | 化学 | 丸山 達也 | 金沢大学大学院自然科学研究科物質化学専攻 | 博士後期課程3年 | 複核金属コアを有するバナジウム-オキソクラスターの構造的特徴と反応性に関する研究 | 600,000 |
| 93 | 化学 | 大好 孝幸 | 筑波大学大学院数理工学系化学域 | 助教 | 特異なステロイド類の効率的合成法の開発 | 580,000 |
| 94 | 化学 | Yang Yanqiong | 大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 | 博士後期課程2年 | トリアゾールブロックとポリエチレングリコールからなる温度およびイオン応答性ブロックコポリマーの合成 | 590,000 |
| 95 | 化学 | 山内 智和 | 愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻 | 博士後期課程2年 | カルコゲン原子を利用した多電子酸化還元系の創出と高性能有機二次電池への展開 | 700,000 |
| 96 | 化学 | 杷野 菜奈美 | 熊本大学大学院先端科学研究部 | 博士研究員 | ナノシリカの自己集積化を利用したマイクロ粒子界面でのリンクル構造形成 | 700,000 |
| 97 | 化学 | 武島 尚人 | 日本大学大学院理工学研究科物質応用科学専攻 | 博士後期課程2年 | プラズモニクナノ粒子の超強相互作用現象に基づく高効率フォトンアップコンバージョンシステムの創製 | 887,900 |
| 98 | 化学 | 幡川 祐資 | 神戸薬科大学 製剤学研究室 | 研究生 | アルツハイマー病治療薬を目指したβ-アミロイド分解酵素ペプチドの開発 | 700,000 |
| 99 | 化学 | 前田 友梨 | 名古屋工業大学工学研究科生命・応用化学専攻 | 助教 | 硫黄含有異種金属クラスターのC-Sカップリング触媒能評価および光触媒反応系への適用 | 700,000 |
| 100 | 化学 | 齋藤 翼 | 富山大学大学院理工学教育部化学専攻 | 修士課程2年 | 置換基によって有機ヒドリド貯蔵能・供与能を制御する錯体触媒の開発と二酸化炭素多電子還元への利用 | 970,000 |
| 101 | 化学 | 西畑 慶一 | 横浜国立大学大学院環境情報学府環境リスクマネジメント専攻 | 博士前期課程2年 | 新規TCBイオン液体電解液と導電性高分子膜の複合作用による色素増感型太陽電池の開発 | 600,000 |
| 102 | 化学 | 長田 浩一 | 東京大学大学院理学系研究科化学専攻 | 特任助教 | 金属中心キラリティーを有するオキソ遷移金属錯体の不斉誘導法の確立 | 700,000 |
| 103 | 化学 | 葉山 照大 | 東邦大学大学院理学研究科化学専攻 | 博士前期課程2年 | 大気中酸素濃度の急上昇後の深海環境と生命進化 ～ガーナで掘削された試料を用いて～ | 630,000 |
| 104 | 化学 | 辻 厳一郎 | 国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 | 任期付研究員 | 新規環状ジスキレオチド誘導体の効率的合成とその機能評価 | 548,172 |
| 105 | 化学 | 岩田 直人 | 東京工業大学大学院理工学研究科有機・高分子物質専攻 | 研究員 | 凹凸コンボジットフィルム中における高分子鎖グラフトナノ粒子の拡散と偏析 | 630,000 |
| 106 | 生物 | 広瀬 雄二郎 | 大阪大学大学院歯学研究所 | 特任助教 | 肺炎レンサ球菌の血液脳関門突破に関与する菌体表層タンパク質検索と突破機構の解明 | 650,000 |
| 107 | 生物 | 千野 翔太 | 東京薬科大学大学院生命科学研究科 | 修士課程2年 | ミトコンドリア品質管理タンパク質PINK1、Parkinが制御する抗ウイルス免疫応答の解析 | 550,000 |
| 108 | 生物 | 荒井 泰葉 | 京都府立医科大学医学研究科感染病態学教室 | 博士研究員 | 鳥インフルエンザウイルスの宿主適応メカニズムの解明 | 700,000 |
| 109 | 生物 | 林 順司 | 立命館大学生命科学部生物工学科 | 助教 | プロリンラセマーゼの基質特異性改変による新規人工ラセマーゼの開発とL-ピペコリン酸生産への応用 | 506,276 |
| 110 | 生物 | 清水 隆之 | 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系 | 助教 | 新規生理活性物質である活性イオウ分子種（RSS）によるシグナル伝達の分子機構 | 650,000 |
| 111 | 生物 | 神谷 哲朗 | 岐阜薬科大学医療薬理学大講座臨床薬理学研究室 | 講師 | Lysyl oxidaseによる細胞外マトリックスのリモデリング異常への転写因子FOXO1の関与 | 550,000 |
| 112 | 生物 | 石川 智愛 | 慶應義塾大学医学部 | 助教 | SW-R発生時の記憶再生を支えるシナプス入力の時空間パターン | 1,000,000 |
| 113 | 生物 | 福田 亮介 | 関西学院大学理工学部生命医化学科 | 助教 | 形質膜上チャネル活性を制御する膜タンパク質マクロ複合体構成因子の網羅的探索及び機能評価 | 550,000 |
| 114 | 生物 | 棒田 亜耶花 | 埼玉大学大学院理工学研究科理工学専攻 | 博士後期課程3年 | 海馬と大脳皮質観察による長期記憶形成のメカニズム解明 | 794,057 |

別表（1）2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究）

（単位：円）

| No. | 審査区分：名称 | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|------------|---|----------|--|---------|
| 115 | 生物 | 櫻尾 宗志朗 | 東京大学大学院薬学系研究科 | 助教 | 組織修復を遠隔制御する体内環境受容システムの解明 | 800,000 |
| 116 | 生物 | 遠藤 彬則 | 東京都医学総合研究所 蛋白質代謝研究室 | 研究員 | 乳腺に特異的に発現する Nrk が乳がんを抑制する分子機構の解明～画期的乳がん治療法を目指した基盤研究～ | 700,000 |
| 117 | 生物 | 三原 良太 | 宮崎大学大学院農学研究科農学専攻植物生産環境科学コース | 修士課程2年 | DNA の高次構造制御による植物の低温馴化機構の解明 | 550,000 |
| 118 | 生物 | 逢坂 文那 | 北海道大学大学院農学院応用生物科学専攻 | 博士後期課程1年 | シングルオルガノイド解析法による腸上皮細胞 miRNA プロファイルの解析 | 550,000 |
| 119 | 生物 | 高野 萌 | 富山大学大学院理工学教育部生物学専攻 | 修士課程2年 | ウロテンシン II は新規の軟骨形成促進因子となり得るか？ | 580,000 |
| 120 | 生物 | 村中 智明 | 京都大学生態学研究センター | 特定研究員 | 限界日長の地域適応が促進する概日時計の周期多様化 | 700,000 |
| 121 | 生物 | 吉田 一貴 | 高崎健康福祉大学薬学部 | 助手 | アレルギー性疾患におけるマスト細胞を中心とした P2X4 受容体の機能解析 | 690,000 |
| 122 | 生物 | 三田 真理恵 | 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系 | 博士後期課程1年 | グルコース代謝を可視化する新規蛍光型分子センサーの開発 | 700,000 |
| 123 | 生物 | 小川 伸一郎 | 東北大学大学院農学研究科資源生物科学専攻動物遺伝育種学分野 | 助教 | 黒毛和種の子牛市場および食肉市場由来の大規模データ統合解析 | 990,000 |
| 124 | 生物 | 藤永 大輝 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻 | 博士後期課程3年 | 核内受容体の細胞膜局在を介した新規ステロイドホルモン作用経路の解明 | 600,000 |
| 125 | 生物 | 平島 智貴 | 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科応用生物学専攻 | 修士課程2年 | ショウジョウバエ初期胚における anillin mRNA の翻訳依存的な局在機構の解析 | 550,000 |
| 126 | 生物 | 下林 俊典 | 海洋研究開発機構数理科学・先端技術研究分野 | 研究員 | アテローム性動脈硬化症を誘起するマクロファージ内脂質蓄積メカニズムの新シナリオ | 800,000 |
| 127 | 生物 | 山田 千早 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | 助教 | ヒトのビフィズス菌以外の細菌が有する母乳オリゴ糖分解酵素ホモログの機能解明 | 700,000 |
| 128 | 生物 | 福地 智一 | 静岡大学創造科学技術大学院自然科学教育部バイオサイエンス専攻 | 博士課程2年 | マウス肝臓発生における網羅的遺伝子発現の数理ネットワークモデル構築 | 700,000 |
| 129 | 生物 | 八木 宏樹 | 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 | 博士課程1年 | 植物が朝露を出す組織の構造に迫る | 600,000 |
| 130 | 生物 | 友重 桜子 | 広島大学大学院総合科学研究科総合科学専攻 | 博士前期課程2年 | 環境感知センサー1次繊毛の「長さ」を変換する分子メカニズム－摂食受容体 MCHR1 を起点とした解析 | 650,000 |
| 131 | 生物 | Roy Rohini | 京都大学大学院生命科学系研究科統合生命科学専攻 | 博士後期課程2年 | 神経シナプスに局在する RNA アデノシンのメチル化修飾の機能解析 | 700,000 |
| 132 | 生物 | 嶋田 玄太郎 | 岡山大学大学院環境生命科学研究科農生命科学専攻 | 博士後期課程1年 | 未熟胚培養法によるメロンとアフリカに自生するキュウリ属野生種との種間雑種作出 | 600,000 |
| 133 | 生物 | 小山 香梨 | お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻生命科学領域 | 博士後期課程2年 | トレボキシア藻における貯蔵脂質のスイッチング機構とその生理学的意義の解明 | 550,000 |
| 134 | 生物 | 花井 映里 | 鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医学専攻 | 博士後期課程1年 | セントラルコマンド伝達経路の活動操作と活動検出 | 650,000 |
| 135 | 生物 | 江頭 良明 | 大阪医科大学医学部生命科学講座生理学 | 助教 | 完全麻痺ゼブラフィッシュを用いた自発性シナプス伝達制御機構の解析 | 800,000 |
| 136 | 生物 | 西子 まあや | 東京農工大学大学院農学府生物生産科学専攻 | 修士課程2年 | 寿命に関わる新規 SOD 遺伝子のドーパミン生合成における役割の解明 | 600,000 |
| 137 | 生物 | 柴田 明裕 | 生理学研究所 | 研究員 | 新規光活性化型 CaMKII を用いた、長期増強を誘起するシグナル伝達機構の解明 | 669,000 |
| 138 | 生物 | 岸本 拓 | 大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻 | 博士後期課程2年 | 緑色硫黄光合成細菌の Rieske/cyt b 複合体の構造及び反応機構の解析 | 600,000 |
| 139 | 生物 | 林田 桃香 | お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻生命科学コース | 博士前期課程2年 | 細胞接着分子ビトロネクチンによる筋線維芽細胞分化促進メカニズムの解明 | 550,000 |
| 140 | 生物 | 東 里香 | 近畿大学大学院生物理工学研究科 | 博士後期課程3年 | 動物園動物の人工繁殖技術に貢献する新規ユニバーサル卵子の作出に関する技術開発 | 800,000 |
| 141 | 生物 | 山口 陽子 | 東邦大学理学部生物分子科学科分子医学部門 | 訪問研究員 | マクロファージの老化によるアポトーシス細胞除去機能低下の分子機構の解明 | 550,000 |
| 142 | 生物 | 池田 裕樹 | 宇都宮大学農学部附属農場 | 助教 | タマネギのりん茎肥大および抽苔発生メカニズムの解明～遺伝子発現を指標とした分子レベルでのアプローチ～ | 800,000 |

別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(一般科学研究)

(単位:円)

| No. | 審査区分:名称 | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|----------------------|-------------------------------------|-------------|--|---------|
| 143 | 生物 | 大久保 伸哉 | 長崎国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻 | 博士課程3年 | オートファジーを制御する天然物の探索と活性成分の単離・同定ならびにがん細胞増殖への影響と作用機序解析 | 600,000 |
| 144 | 生物 | 梅村 小雪 | 首都大学東京大学院理工学研究科分子物質化学専攻 | 博士前期課程2年 | 条件欠損細胞を用いたトポイソメラーゼIの機能解析 | 650,000 |
| 145 | 生物 | 成山 奏子 | 名古屋大学大学院理学部理学研究科生命理学専攻 | 修士課程2年 | カタウレイボヤの受精における自己非自己認識タンパク質の相互作用解析 | 720,000 |
| 146 | 生物 | 齋藤 亜紀 | 山形大学大学院有機材料システム研究科有機材料システム専攻 | 修士課程2年 | 小麦アレルギー患者に向けた“小麦粉麺と同様の食感を持つ米粉麺”の開発 | 650,000 |
| 147 | 生物 | 坂本 勇貴 | 東京理科大学研究推進機構総合研究機構院イメージングフロンティアセンター | ポストドクトラル研究員 | 植物細胞のいびつな核形態の生物学的意義の解明 | 550,000 |
| 148 | 生物 | 宮下 奏一郎 | 弘前大学大学院農学生命科学研究科農学生命科学専攻 | 修士課程2年 | 無性生殖から有性生殖への転換を制御する扁形動物に広く保存された未知物質の同定 | 550,000 |
| 149 | 生物 | 門田 慧奈 | 九州大学大学院理学研究院生物科学部門 | 助教 | 野生シロイヌナズナの大規模解析から探る、炭素・窒素バランスが制御する気孔開閉応答機構 | 800,000 |
| 150 | 生物 | 木村 泉美 | 首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻 | 博士後期課程4年 | シダ植物特有の光受容体フィトクロム3は弱光環境において遺伝子発現を介した光形態形成を制御するのか | 550,000 |
| 151 | 生物 | 大坂 夏木 | 東京農業大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻 | 博士後期課程2年 | 枯草菌における栄養状態に応じたGTPレベル制御と生存との関係性の解析 | 670,242 |
| 152 | 生物 | 新森 友香 | 首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻 | 博士前期課程2年 | 窒素飢餓適応におけるグリコーゲン代謝の役割 | 417,056 |
| 153 | 生物 | 中村 啓哉 | 岩手大学大学院連合農学研究科生物生産科学専攻 | 博士課程2年 | 始原生殖細胞の生殖巣へのホーミングを利用した生殖系列キメラの作出 | 660,000 |
| 154 | 生物 | 星野 智 | 岐阜大学大学院自然科学技術研究科生物生産環境科学専攻応用動物科学領域 | 修士課程2年 | 栄養学的および遺伝学的アプローチによる飼育下テンゲザルの消化機能の解明 | 590,000 |
| 155 | 生物 | 宮前 二郎 | 日本大学大学院獣医学研究科獣医学専攻 | 博士課程4年 | 再生医療実現のためのイヌ移植免疫学的知見の収集 | 500,000 |
| 156 | 生物 | 濱崎 佐和子 | 鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻 | 博士課程3年 | 血液脳関門の透過性を生理的に亢進する外的刺激の探索とその調節機序の解明 | 700,000 |
| 157 | 生物 | 桑田 巧 | 創価大学大学院工学研究科生命情報工学専攻 | 修士課程1年 | コントラスト変化法を用いたX線小角散乱による、ホロフェリチンの外殻構造評価 | 568,196 |
| 158 | 生物 | 張 珍 | 山梨大学大学院総合研究部先端応用医学講座分子情報伝達部門 | 博士課程4年 | アレルギー性気道免疫反応におけるギャップ結合を介した細胞間コミュニケーションの役割 | 550,000 |
| 159 | 生物 | Rajendran Arun Kumar | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 | 博士後期課程3年 | ポリロタキサン分子の可動性が骨芽細胞分化へ与える影響の分子機構とメカニカルストレスにおける位置づけ | 640,000 |
| 160 | 生物 | 北川 宏信 | 兵庫県立大学大学院生命理学研究科 | 助教 | 哺乳類中枢神経回路の配線原理に基づいた損傷脳領域の機能的回復への挑戦 | 600,000 |
| 161 | 生物 | 早坂 央希 | 鹿児島大学大学院連合農学研究科農水圏資源環境科学水産資源環境科学 | 博士後期課程1年 | メダカをモデルとした特定の光波長照射による性転換誘導の研究 | 750,000 |
| 162 | 生物 | 松原 遼 | 学習院大学理学部生命科学科 | 研究員 | 再生現象に必須な“細胞外基質の分解と再構成メカニズム”の解明 | 600,000 |
| 163 | 生物 | 林 一沙 | 高知大学大学院総合人間自然科学科農学専攻 | 修士課程2年 | 青枯病菌の病原性の根幹をなすオラムセンシングをフィードバック制御する細胞間情報ネットワークの解明 | 550,000 |
| 164 | 生物 | 並木 貴文 | 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 | 博士前期課程2年 | 哺乳類の胚着床・妊娠維持における亜鉛シグナル分子機構の解明 | 750,000 |
| 165 | 生物 | 赤峰 冨 | 京都大学大学院医学研究科医科学専攻 | 修士課程2年 | 修飾ヌクレオチドの導入による高安定性・高機能mRNAの開発 | 750,000 |
| 166 | 生物 | 小林 慧人 | 京都大学大学院農学研究科 | 博士後期課程1年 | 地上部と地下部の生態を統合した竹林拡大のメカニズム解明 | 338,584 |
| 167 | 生物 | 宇野 裕美 | 京大大学生態学研究センター | 特定准教授 | 両側回遊性エビが河川河畔林生態系に及ぼす影響の評価 | 800,000 |
| 168 | 生物 | 村田 怜 | 山形大学大学院理工学研究科理学専攻生物学分野 | 博士前期課程1年 | 菌根菌ネットワークを介した森林内の炭素動態:安定同位体分析による解明 | 600,000 |
| 169 | 生物 | 伊藤 毅 | 京都大学霊長類研究所 | 助教 | ニホンザルの系統集団史と頭蓋形態の地理的多様化プロセスを探る集団ゲノミクス研究 | 580,000 |

別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(一般科学研究)

(単位:円)

| No. | 審査区分:名称 | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|-------|--------------------------------|----------|---|---------|
| 170 | 生物 | 白井 郁 | 東邦大学大学院理学研究科生物学専攻 | 博士前期課程2年 | コウモリ類の顔面形態の多様性が生み出される仕組みの解明 | 620,000 |
| 171 | 生物 | 山川 隼平 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物学専攻 | 博士前期課程2年 | イトマキヒトデにおける五放射相称の発生メカニズムの解明:どのようにして「5」が生み出されるのか? | 760,000 |
| 172 | 生物 | 中武 洋佑 | 長崎大学大学院水産環境科学総合研究科水産学専攻 | 博士前期課程2年 | ロウソクギンポ雄の保護卵認識メカニズムーフェロモンを介した行動発現調節ー | 630,000 |
| 173 | 生物 | 澤田 明 | 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 | 博士後期課程1年 | 分散行動を規定する要因と分散行動が作る遺伝子の空間分布の推定:進化の観測を目標に | 780,000 |
| 174 | 生物 | 津村 美悠 | 北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻 | 修士課程2年 | 北海道東部におけるハスカップの倍数性分布に関する研究ー遺伝的多様性解析を通して局所的分布の謎を探るー | 650,000 |
| 175 | 生物 | 高野 剛史 | 公益財団法人目黒寄生虫館 | 研究員 | 見過ごされてきた生物間相互作用:一時寄生性腹足類の宿主利用様式および栄養段階の解明 | 640,000 |
| 176 | 生物 | 山崎 健史 | 首都大学東京理学研究科生命科学専攻 | 特任助教 | インドシナおよびマレー半島におけるヒヨケムシ類の系統地理学 | 540,000 |
| 177 | 生物 | 設楽 拓人 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻 | 博士後期課程3年 | 最終氷期の遺存植物チョウセンミネバリの本州中部における分布と植生の実態の把握 | 413,496 |
| 178 | 生物 | 岡田 守弘 | 理化学研究所 | 特別研究員 | 生き物はどのようにして癌で死ぬのか? | 590,000 |
| 179 | 生物 | 佐藤 真 | 富山大学大学院理工学教育部地球生命環境科学専攻 | 博士課程2年 | 高山帯に生息するヤマナメクジの遺伝的な空間的変異の形成機構:標高クライム検出の試み | 750,000 |
| 180 | 生物 | 石川 陽 | 東京農業大学大学院農学研究科林学専攻 | 博士前期課程2年 | 異なる森林タイプの境界における外生菌根菌群集が広葉樹実生の定着に与える影響 | 740,000 |
| 181 | 生物 | 坂上 嶺 | 広島大学大学院生物圏科学研究科生物資源科学専攻 | 博士後期課程3年 | フタスジリュウキュウスズメダイの隠蔽的性転換と繁殖戦略の解明 | 750,000 |
| 182 | 生物 | 山崎 大志 | 東北大学大学院生命科学研究所生態システム生命科学専攻 | 博士後期課程3年 | 寄生者のスペシャリスト化はどのように生じるのか?:動的に変化する魔法形質としての宿主を例とした検証 | 600,000 |
| 183 | 生物 | 金道 知聖 | 東京大学大学院農学生命科学研究所森林科学専攻 | 修士課程2年 | 地中の障害物が竹の稈や地下茎の成長に及ぼす影響とその生態的意義 | 700,000 |
| 184 | 生物 | 奥 裕太郎 | 宮崎大学大学院農学工学総合研究科生物機能応用科学専攻 | 博士後期課程2年 | クサビライシ科サンゴの未成熟個体における分子系統学的手法を用いた分類および共有派生形質の探索 | 610,000 |
| 185 | 生物 | 木村 彰宏 | 弘前大学大学院農学生命科学研究所農学生命科学専攻生物学コース | 修士課程2年 | 青森県のブナ林に生息する樹上性昆虫が二次的接触をすることで起きる種間交雑や遺伝子浸透と繁殖形質の分化 | 660,000 |
| 186 | 生物 | 喜瀬 浩輝 | 琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻 | 博士後期課程1年 | ヤドリスナギンチャク科の宿主転換による多様化の解明に向けた基礎的研究 | 730,000 |
| 187 | 生物 | 江川 史朗 | 東北大学大学院生命科学研究所生命機能科学専攻 | 博士後期課程3年 | 恐竜の系統における発生様式の進化:大腿骨について | 800,000 |
| 188 | 生物 | 田路 翼 | 信州大学大学院総合理工学研究科理学専攻 | 修士課程2年 | サラシナショウマの多様な性表現の維持機構ー雌雄異熟性と送粉者相に着目してー | 650,000 |
| 189 | 生物 | 篠田 梨奈 | 千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻 | 博士前期課程2年 | アリは更生するのか?ー利己的行動の再発現抑制に対する懲罰効果の検証ー | 365,524 |
| 190 | 生物 | 中島 康成 | 神奈川大学大学院理学研究科理学専攻 | 博士前期課程2年 | 表層細胞とコア細胞の分化による Aegagropila linnae 球状体(マリモ)の維持機構の解明 | 569,564 |
| 191 | 生物 | 吉田 貴大 | 九州大学 農学研究院 生物的防除研究施設 | 学術研究員 | 生物学上初めての生きた組織を使わない自切形式“脱皮殻自切(新称)”の立証およびその進化 | 800,000 |
| 192 | 生物 | 遠藤 梓 | 広島大学大学院生物圏科学研究科生物資源科学専攻 | 博士前期課程2年 | 産卵移動を行うフウライチョウウオの産卵生態と一夫一妻の進化要因 | 400,000 |
| 193 | 生物 | 植松 圭吾 | 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 | 学術研究員 | 虫こぶの多様性と進化:社会性アブラムシの排泄物処理を容易にする撥水・吸水メカニズム | 750,000 |
| 194 | 生物 | 上嶋 智大 | 金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻 | 修士課程2年 | 温度がゼンマイ属植物の生殖的隔離に与える影響の解析ー両親種における細胞周期時間のズレの検証ー | 750,000 |
| 195 | 生物 | 本間 千穂 | 愛媛大学大学院連合農学研究科生物環境保全学専攻 | 博士課程1年 | アオブダイの毒化機構解明を目指してーアオブダイの毒化原因生物の解明ー | 550,000 |
| 196 | 生物 | 福田 真平 | 東邦大学大学院理学研究科生物学専攻 | 博士前期課程2年 | 3D プリント模型を用いた甲虫体色の適応的意義の解明ー視覚的捕食者に対する警告色の検証ー | 718,413 |
| 197 | 生物 | 吉田 純輝 | 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 | 博士後期課程3年 | 新たなゴニオフォリス化石から探るワニ類の水生適応の初期進化 | 420,000 |
| 198 | 生物 | 何 海 | 大阪府立大学大学院生命環境科学応用生命科学 | 博士後期課程2年 | RNA シーケンシング解析によるタバコの種間・異倍数性間交雑における子房落下および種子発育不全の解明 | 500,000 |

別表(1) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(一般科学研究)

(単位:円)

| No. | 審査区分:名称 | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|----------------------------------|-----------------------------------|----------|--|---------|
| 199 | 生物 | 高倉 千紘 | 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻 | 博士前期課程1年 | 遊泳性カニ類の逃避行動解析ーカニの特殊な形態と行動はなぜ進化してきたのかー | 480,000 |
| 200 | 生物 | 邑上 夏菜 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻 | 博士前期課程2年 | 送粉者量が相反する都市域と里山域で同時に起きるツユクサの自殖進化ー過剰な開花数に起因する送粉者制限ー | 790,000 |
| 201 | 生物 | 入谷 直輝 デービス | 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 | 博士後期課程2年 | 原始的海産グレガリナ類の1新種の次世代シークエンサーを用いた解析へアピコンプレックス類の進化を探る | 600,000 |
| 202 | 生物 | 中井 渉 | 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻 | 博士後期課程3年 | 13C パルスラベリングを用いた熱帯樹木の年輪様構造の形成要因の解明と年輪年代学への応用 | 625,624 |
| 203 | 生物 | 岡本 康汰 | 琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻 | 博士前期課程2年 | ミナミヤモリ種複合群に含まれる2種の性決定様式の解明 | 410,000 |
| 204 | 生物 | 邊見 由美 | 京都大学 | 研究員 | ハゼとテッポウエビの相利共生の進化過程:スジハゼ類による条件的共生の生態解明からのアプローチ | 800,000 |
| 205 | 生物 | 小林 勇太 | 横浜国立大学大学院環境情報学府環境生命学専攻 | 博士後期課程2年 | 人間社会の利用を考慮した生態系サービス評価手法の開発 | 410,000 |
| 206 | 生物 | 田島 知之 | 京都大学大学院理学研究科 | 教務補佐員 | 群れない類人猿の社会構造を探る:オランウータンに母系血縁コミュニティは存在するか | 790,000 |
| 207 | 生物 | 北村 知也 | 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻 | 博士課程4年 | 日本在来コウモリのウイルス叢探索~日本のコウモリは病原ウイルスを媒介しているのか?~ | 470,000 |
| 208 | 生物 | 青木 聡志 | 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 | 博士課程2年 | 空間統計学・確率密度を応用した再現性ある分類方法の構築とその適用 | 330,000 |
| 209 | 複合 | 山本 有夏 | 静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻地球科学コース | 修士課程2年 | 東海地震の発生間隔の実証研究 | 650,000 |
| 210 | 複合 | 苫米地 祐輔 | 東海大学工学部応用化学科 | 特任助教 | エンド型グリコシダーゼの糖鎖転移活性を利用した糖鎖修飾タグの開発 | 550,000 |
| 211 | 複合 | 川崎 教行 | 北海道大学大学院理学研究院 | 助教 | 新たに発見した太陽系材料物質の同位体組成とその起源の解明 | 780,000 |
| 212 | 複合 | 根元 裕樹 | 目白大学短期大学部ビジネス社会学科 | 専任講師 | WebGISを用いた地図パズルシステムの開発とそれを利用した授業案の提案 | 175,052 |
| 213 | 複合 | 小林 亘 | 高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科食品栄養学専攻 | 博士前期課程2年 | タクアン漬けにおける機能性成分産生機構の解析および血圧上昇抑制因子の解明 | 550,000 |
| 214 | 複合 | 太田 亘俊 | 理化学研究所生命システム研究センター集積バイオデバイス研究ユニット | 特別研究員 | ガラス製マイクロチップデバイス「モニタリングピペット」による電界と一神経細胞分泌物の関連性調査 | 780,000 |
| 215 | 複合 | 河野 裕允 | 北海道大学大学院薬学研究院 | 助教 | 低分子薬物と遺伝子医薬品を搭載可能な磁場応答性薬物キャリアの創製とそのがん治療への応用 | 500,000 |
| 216 | 複合 | 松田 真由美 | 茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科保健医療科学専攻 | 博士後期課程3年 | 上肢の運動麻痺を有した小児におけるロボティクストレーニングの効果-自宅で実施可能な介入方法の検討- | 700,000 |
| 217 | 複合 | 高野 安見子 | 広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻 | 修士課程2年 | 過去から現在に至るまでの火星表層環境の変遷を追う:鉱物組織学と同位体化学の融合研究 | 650,000 |
| 218 | 複合 | 柴田 誠 | 新潟食料農業大学食料産業学部食料産業学科 | 助教 | 中部アフリカ・森林-サバンナ境界帯の開墾に伴う土壌物理性の変化に関する研究-マクロポア流に着目して | 0 |
| 219 | 複合 | 木村 文香 | 弘前大学大学院人文社会科学研究科文化科学専攻 | 修士課程2年 | 文化財害虫の光応答性に基づく防除システムの検証 | 780,000 |
| 220 | 複合 | 菅 忠明 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻 | 博士後期課程2年 | 膀胱がん組織の多色深部観察に基づく空間分布制御型DDSキャリアの構築 | 550,000 |
| 221 | 複合 | 山田 昌樹 | 東京大学地震研究所 | 特任研究員 | 別府湾海底活断層地震による津波規模・発生時期の推定:津波石を用いた地質学的アプローチ | 500,000 |
| 222 | 複合 | 藤原 真奈 | 京都大学大学院人間環境学研究科共生人間学専攻認知科学分野 | 修士課程1年 | 視覚と聴覚の知覚体験生成の源泉と知覚情報処理機序の情報学的解明 | 700,000 |
| 223 | 複合 | 寺内 正彦 | 東京医科歯科大学生体材料工学研究所有機生体材料科学分野 | 研究支援員 | 外部応力緩和能とタンパク質徐放制御能に優れた超分子架橋ゲルの創製 | 700,000 |
| 224 | 複合 | Younger Pauleen Maria Petalcorin | 東京大学大学院農学部農学生命科学研究科農学国際専攻 | 博士前期課程1年 | 日本ミツバチにおけるフローハイブ利用の可能性とその効果の検証 | 780,000 |
| 225 | 複合 | 田尻 絵里 | 熊本県立大学大学院環境共生学研究科 | 博士前期課程2年 | 睡眠時間の短縮が食行動と糖化ストレスへ及ぼす影響 | 650,000 |
| 226 | 複合 | 山崎 雄大 | 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科医療福祉学専攻 | 博士後期課程2年 | ベダリング運動は感覚入力処理機能を高めるか? | 498,935 |

別表（１）２０１８年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（一般科学研究）

（単位：円）

| No. | 審査区分：名称 | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------|--------|------------------------------------|-----------|---|-------------|
| 227 | 複合 | 橋本 佳菜 | 金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻 | 修士課程 2年 | 結晶を含むマグマにおける脱ガスと空振励起のメカニズム：流体実験と観測による解明 | 450,000 |
| 228 | 複合 | 新谷 知也 | 愛媛大学大学院連合農学研究科生物資源利用学専攻（配属：香川大学） | 博士課程 3年 | 線虫 C.elegans を用いた機能性ヘキソースの抗老化効果における食餌条件の影響解析および比較検討 | 700,000 |
| 229 | 複合 | 和田 恵梨 | 群馬大学大学院医学系研究科代謝シグナル解析分野 | 博士後期課程 2年 | 栄養素によるグルカゴンの分泌調節機序の解明と、健康増進のための栄養素摂取比率の検討 | 780,000 |
| 230 | 複合 | 米田 大樹 | 立命館大学大学院理工学研究科 | 博士前期課程 2年 | 弾性体折り紙：紙ばねの変形と力学特性の解明 | 380,000 |
| 231 | 複合 | 西村 光洋 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 | 博士課程 3年 | 超音波刺激を利用した有効かつ安全な腹膜線維化の予防および治療むけた遺伝子導入法の開発・評価 | 770,000 |
| 232 | 複合 | 王 磊 | 九州大学大学院薬学部創薬科学科創薬科学専攻 | 博士後期課程 3年 | CG 障害部位を選択的に認識する人工核酸の創製と 3 本鎖形成能の評価 | 780,000 |
| 233 | 複合 | 古山 貴文 | 同志社大学研究開発推進機構及び生命医科学部 | 特別任用助手 | 視聴覚統合による物体認識に必要な神経機構：コウモリを用いた研究 | 650,000 |
| 234 | 複合 | 青木 宏展 | 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻 | 博士後期課程 3年 | 歴史的造形物のデジタル 3D 造形データの取得・保存・活用に基づく持続可能な地域づくり | 700,000 |
| 235 | 複合 | 松井 久美子 | 国立科学博物館地学研究部 | 特別研究員 | 海棲哺乳類の海洋環境適応と生存戦略の変遷の解明 | 730,000 |
| 236 | 複合 | 福間 早紀 | 岡山大学大学院環境生命科学研究科環境科学専攻 | 博士後期課程 2年 | ソフト界面の機能性材料としての設計指針の探索～ベシクル膜ダイナミクスから探る～ | 780,000 |
| 237 | 複合 | 中居 勇樹 | 九州大学大学院理学府物理学専攻 | 博士後期課程 4年 | 実用的な火山透視システムの開発、及び透視能力の実証 ～3次元リアルタイムモニターの実現に向けて～ | 650,000 |
| 238 | 複合 | 村上 浩子 | 東京都医学総合研究所精神行動医学・依存性薬物プロジェクト | 研究員 | 行動療法が自閉症モデルマウスの社会性行動と遺伝子の後天的修飾（エピジェネティクス）に及ぼす影響 | 700,000 |
| 239 | 複合 | 主森 亘 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科地球進化科学専攻地球史解析科学分野 | 博士後期課程 4年 | 二次的水生適応に伴う鰭脚類の“歩行能力の喪失”と“遊泳能力の獲得”の機能形態史 | 780,000 |
| 240 | 複合 | 小寺 敏光 | 創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻 | 博士後期課程 2年 | 導電性担体添加型メタン発酵・脱窒素統合グラニュールによる高濃度窒素含有有機性廃水の高効率処理 | 650,000 |
| 241 | 複合 | 劉 俐伶 | 筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻 | 博士前期課程 2年 | 都市空間スケールの違いに着目した電動自転車の優位性と適用可能な条件に関する研究 | 700,000 |
| 242 | 複合 | 西 信哉 | 慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻 | 博士後期課程 1年 | ホウ素化合物による立体選択的グリコシル化反応を駆使した大腸菌由来糖鎖の合成と複合糖質ワクチンへの応用 | 700,000 |
| 243 | 複合 | 白川 未希子 | 神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻 | 博士前期課程 2年 | 都市公園を活用した移動型遊び場のあり方に関する研究 | 683,237 |
| 244 | 複合 | 前田 智徳 | 東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻老年看護学創傷看護学分野 | 博士前期課程 2年 | 車いすバスケットボール選手における褥瘡の実態調査 -東京パラリンピックパフォーマンス向上計画- | 748,113 |
| 245 | 複合 | 山下 知子 | 医療法人社団 至高会 たかせクリニック 地域医療研究部 | 研究員 | 子どもの外反母趾予防のための足部骨格構造計測システムの開発 | 650,000 |
| 246 | 複合 | 高田 真吾 | 北海道大学大学院医学研究院循環病態内科学 | 博士研究員 | 心不全の骨格筋異常におけるミトコンドリア複合体 II とその会合因子の役割解明 | 700,000 |
| | | | | | | 154,967,798 |

別表(2) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(実践研究)

(単位:円)

| No. | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|--------|---|-------------------|---|-----------|
| 1 | 丁子 雄希 | 富山リハビリテーション医療福祉大学 校リハビリテーション学部作業療法学 科 | 教員 | 脳卒中患者の雨天を考慮した自動車運転評価尺度の開発 に向けて -富山県における運転支援者の実態調査 | 330,000 |
| 2 | 赤田 いづみ | 川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看 護学科 | 講師 | 看護学生の職業的予期的社会化尺度の開発 | 91,798 |
| 3 | 斉藤 大朋 | 新ひだか町博物館 | 主幹・学芸員 | 行幸啓宿泊施設「龍雲閣」の基礎研究 | 150,000 |
| 4 | 大浦 麻絵 | 札幌医科大学医学部公衆衛生学 | 助教 | 北海道札幌市の学童における感染症予防教育の効果 | 500,000 |
| 5 | 茂住 和世 | 東京情報大学総合情報学部 | 准教授 | グループ活動を伴うプロジェクト型学習はどんな学生に も意味あるのか -「地藏」的學生に着目して- | 370,000 |
| 6 | 岡部 弘佑 | 和歌山工業高等専門学校電気情報工学 科 | 准教授 | 双腕を有する高機能な Aerial Manipulation システムに関 する研究 | 370,000 |
| 7 | 佐賀 達矢 | 岐阜県立多治見高等学校理科 | 教諭 | 高校生による先端技術を取り入れた動物の行動パターン 解析研究の実践と手法の確立 | 363,923 |
| 8 | 大月 敦子 | 専修大学商学部 | 兼任講師 | 小学校英語のための暗記学習代替学習法の研究開発 -動詞 キーワードとしての「Be 動詞」の可能性- | 300,000 |
| 9 | 小島 英治 | 中京大学教育学部教職支援課 | 付部長 | 自動車庫における IPM(総合的有害生物管理)モニタリン グ実施のための調査研究 | 409,885 |
| 10 | 波名城 翔 | 宮古島地域精神医療保健福祉研究会 | 代表 | 大規模離島における精神障害者支援に関する研究 -沖縄県 先島諸島、長崎県壱岐・対馬の調査から- | 500,000 |
| 11 | 飯塚 希世 | お茶の水女子大学図書情報課 | 事務補佐員 | 明治～戦前期の点字図書調査及び書誌的分析 筑波大 学附属視覚特別支援学校資料室所蔵資料を手がかりに | 500,000 |
| 12 | 松本 慎平 | 広島工業大学情報学部知的情報システ ム学科 | 准教授 | レゴロボットプログラミングによる STEAM 教育の実践 に関する研究 | 400,000 |
| 13 | 相田 裕介 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 教育課 | 主任学芸主事 | 障害者に対応するための 3D プリンタを用いたハンズオ ン資料の作成とその活用 | 420,000 |
| 14 | 鄭 尚海 | 社会福祉法人青山里会小山田特別養護 老人ホーム サテライト川島 | ソーシャルワ ーカー | 認知症高齢者のストレングス活用に関する研究: 特別養 護老人ホームの介護職員に対する聞き取り調査に焦点 | 38,163 |
| 15 | 藤井 大地 | 平塚市博物館社会教育部博物館 | 学芸員 | 市民とともに行う流星観測とその結果の博物館活動での 利用の研究 | 250,000 |
| 16 | 大崎 晴地 | 神経現象学リハビリテーション総合研 究センター | 研究員 | 精神科病棟での神経現象学リハビリテーションにおける 建築的環境の研究 | 240,000 |
| 17 | 鈴木 聡 | 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 学芸員 | 博物館標本の変異解析に基づいた哺乳類の多様性を学習 するための教材の開発 | 500,000 |
| 18 | 佐藤 萌 | 京都服飾文化研究財団 | アシスタント・ コンサバター | 服飾文化財に用いられたプラスチックの同定および劣化 状態の把握とその最適な収蔵方法の提案 | 320,000 |
| 19 | 高松 美紀 | 東京都立国際高等学校 | 指導教諭 | 探究的な学習における国際バカロレア導入の効果と検証 -高校国語の授業実践開発を中心に | 400,000 |
| 20 | 管藤 美穂 | 北翔大学保健センター学生相談室 | カウンセラー | 大学における障がいのある学生の社会参加支援に関する 研究 | 0 |
| 21 | 芝田 浩 | 山形県立産業技術短期大学校庄内校電 子情報科 | 主任講師 | アクティブラーニングによる地域志向教育の実践 -枝豆栽 培における IoT スマート農業管理システムの開発- | 370,000 |
| 22 | 井上 治代 | 認定 NPO 法人エンディングセンター | 理事長 | 「無縁死」が問題視される現代社会における葬儀や死後 事務等を第三者に託す「葬送の社会化」に関する研究 | 410,000 |
| 23 | 重野 裕美 | 私立長崎精道小中学校美術科 | 非常勤講師 | アート制作を通じた病児と中学生の交流による教育の可 能性について | 490,000 |
| 24 | 吉野 良祐 | 東京大学大学院工学系研究科建築学専 攻 | 修士課程 1 年 | 横浜駅周辺のまちづくりワークショップを通じた地域児 童・学生のための工学リテラシー教育プログラムの開発 | 260,000 |
| 25 | 横井 有紀 | 北海道大学附属図書館利用支援課 | 課長補佐 | 北海道大学附属図書館所蔵明治大正期北海道写真等の国 際的な公開に関する研究 | 300,000 |
| 26 | 大村 文乃 | 学習院さくらアカデミー | 講師 | 水産物の生態学・解剖学的な教材開発とその実践と評価 ~水産資源の持続可能な利用に向けて~ | 360,000 |
| 27 | 二宮 祐子 | 東京女子体育短期大学児童教育学科 | 准教授 | 障がい理解絵本を教材とする「心のバリアフリー教育」 の実践研究: インクルーシブ教育の充実に向けて | 390,000 |
| 28 | 栗田 明子 | NPO 法人 NECST ユースキャリアセン ターフラッグ | 心理士 | 成人期の発達障害者の障害への気づきと自己理解のプロ セス | 116,400 |
| 29 | 田村 穂 | 神戸大学大学院経済学研究科 | 博士前期課程 2 年 | 市民出資によるまちづくり会社-龍野モデルの構築に向 けて- | 0 |
| | | | | | 9,150,169 |

別表(3) 2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(海洋・船舶科学研究)

(単位:円)

| No. | 助成者名 | 所属機関:名称 | 所属機関:職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------------|--|-----------|---|---------|
| 1 | 楊 峻懿 | 京都大学大学院人間・環境学研究所共生文明学専攻 | 博士後期課程1年 | 近代東アジアにおける水産学校と人材育成 - 農商務省水産講習所から中国・台湾・朝鮮へ - | 810,000 |
| 2 | 難波 瑞穂 | 北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻 | 博士後期課程1年 | 半閉鎖性海域における環境複合要因がアマモ場の生産性および群集構造に与える影響の解明 | 917,701 |
| 3 | 漢那 直也 | 北海道大学北極域研究センター雪氷圏研究グループ | 博士研究員 | 氷河流出水と海水の密度差を駆動力とする鉄ポンピングシステムの解明 | 790,000 |
| 4 | 久保 篤史 | 静岡大学理学部地球科学科 | 助教 | 小型CO2濃度連続測定装置の開発 | 730,000 |
| 5 | 谷口 智之 | 海上技術安全研究所 | 研究員 | パラメトリック励振を利用した倒立振り型波力発電装置の開発 | 690,475 |
| 6 | 野坂 裕一 | 東海大学生物学部海洋生物科学科 | 助教 | 遠隔操作型海洋表面マイクロ層連続採水装置の開発 | 720,000 |
| 7 | 伊藤 大智 | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋システム工学専攻 | 博士前期課程2年 | 非線形同期を使った可視光通信機能を持つ海底資源探査用SWARMの開発 | 830,000 |
| 8 | 余田 昂彌 | 京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻里海生態保全学講座 | 修士課程2年 | 環境DNA手法を用いたクラゲ類のモニタリング技術の確立と大発生防除への応用 | 970,000 |
| 9 | 閻 乃箏 | 北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻 | 博士後期課程1年 | 計量魚群探知機を用いた北海道噴火湾周辺海域におけるソウハチとスケトウダラ稚魚の音響判別 | 510,000 |
| 10 | 中國 正寿 | 創価大学理工学部 | 助教 | 古環境解析のためのより簡便なステロール分析方法の確立と応用: TMAH熱化学分解法 | 850,000 |
| 11 | 柏原 知実 | 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻 | 修士課程2年 | 環境DNA調査によるオオメジロザメの河川内生息域の解明 | 980,000 |
| 12 | 中郡 翔太郎 | 岐阜大学大学院連合獣医学研究科獣医学専攻(配属:帯広畜産大学) | 博士課程3年 | 海棲哺乳類の特定疾病に関する病理・環境毒性学的解明 | 590,000 |
| 13 | 服部 朗 | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻科 | 博士前期課程2年 | 駿河湾の小型底曳網漁業における投棄魚の実態解明およびその削減に関する研究 | 650,000 |
| 14 | 蜷塚 論 | 東京海洋大学大学院応用環境システム学専攻 | 博士後期課程1年 | 南極海におけるElectrona antarctica(魚類、ハダカイワシ科)仔魚の食性 | 880,000 |
| 15 | 原田 佳奈 | 福井県立大学大学院生物資源学研究科海洋生物資源学専攻 | 博士前期課程1年 | 性ホルモン依存的な雄繁殖戦略における海洋-陸水間の遺伝的変異:イトヨ類を用いた検証 | 640,000 |
| 16 | 豊田 紘子 | 筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻 | 博士課程3年 | 日本の温州みかん普及における小型農用船の寄与 - 瀬戸内芸予諸島における「みかん舟」の記録作成 - | 700,000 |
| 17 | 佐野 聡 | 東海大学大学院海洋学研究科 | 修士課程2年 | 四国南海域におけるハナヤサイサンゴ科の種同定と群集構造の推定 | 534,233 |
| 18 | 森島 慎也 | 広島大学大学院生物圏科学研究科環境循環系専攻 | 修士課程2年 | サンゴ礁域に生息するシャコガイ類における褐虫藻放出現象の解明 | 500,000 |
| 19 | 松原 直人 | 北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学科水産工学講座 | 博士後期課程3年 | 魚類鳴音による海洋構造物の集魚効果の評価 | 600,000 |
| 20 | 神吉 隆行 | 東京大学大学院農学研究科水圏生物科学専攻 | 博士課程1年 | 潮下帯岩礁域における新規調査手法の開発による付着生物各種の生息環境の解明 | 710,000 |
| 21 | 萬代 あゆみ | 鹿児島大学大学院水産学研究科 | 博士前期課程2年 | ヒメジ科魚類ホウライヒメジ類似種群の分類学および生態学的研究 | 660,000 |
| 22 | 李 根 | 海洋研究開発機構横浜研究所 | 国際ポスドク研究員 | 生物規範型円盤状水底軟体ロボット:流体力学メカニズム解明、運動プランニング及び初期設計 | 910,000 |
| 23 | Wong Shu Kuan | 東京大学海洋生態系胴体部門微生物分野 | 特任研究員 | 「波の花」から探る海洋性バイオエアロゾルの微生物群集動態 | 867,484 |
| 24 | 井上 幸男 | 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻 | 博士後期課程2年 | キャノピー構造が藻場の海水流動と一次生産量に与える影響 | 610,000 |
| 25 | 大村 智之 | 神戸大学大学院海事科学研究科海事科学専攻海洋安全システム科学専攻 | 博士前期課程2年 | 津波の引き波を再現する水槽試験法の開発と引き波を利用した港外避難の検討 | 650,000 |
| 26 | 上原 慧哉 | 京都大学大学院農学研究科応用生物化学専攻 | 修士課程2年 | ジュゴンの鳴音パターンの定量的評価と地域間比較 | 770,000 |
| 27 | 福地 伊美映 | 琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻 | 博士前期課程2年 | 周縁性魚類の性特異的な回遊生態の研究 - ボラ科魚類の河川内における性比の偏りに着目して - | 780,000 |
| 28 | 山道 敦子 | 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻 | 博士前期課程1年 | 行動記録計を用いた自然環境下におけるヒラメ成魚の摂餌行動の定量化 | 790,000 |
| 29 | 井町 美智也 | 広島大学大学院工学研究科輸送・環境システム | 博士後期課程2年 | Peridynamicsを用いた鋼材の動的破壊現象のモデル化に関する研究 | 700,000 |
| 30 | 向井 幸樹 | 九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻 | 博士後期課程2年 | 貝毒原因プランクトンの高感度検出法の開発と発生動態解析 | 780,000 |
| 31 | 安武 由矢 | 九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻動物・海洋生物資源学コース水産増殖学分野 | 修士課程2年 | 九州北部海域におけるメバル複合種群の成熟と産仔時期 - メバルは夏季に産出するか - | 466,910 |
| 32 | 周 金コン | 東京大学大学院工学系研究科システム創成専攻 | 博士課程1年 | 生態環境に優しい複合養殖の数値モデル構築及び現地検証 | 630,000 |
| 33 | 金子 達哉 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻 | 博士課程1年 | 超大水深掘削の動力学モデルとデータ駆動型手法を用いたリアルタイム孔底挙動推定 | 750,000 |

別表（3）2018年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（海洋・船舶科学研究）

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 | 確定助成金額 |
|-----|---------------------|---------------------------------|----------|---|------------|
| 34 | 村田 裕樹 | 東北大学大学院農学研究所資源生物学専攻フィールド社会技術学分野 | 博士後期課程1年 | 人工衛星リモートセンシングによる海面養殖施設マッピング手法の開発 | 790,000 |
| 35 | 手塚 勇輝 | 富山大学大学院理工学教育部生物圏環境科学専攻 | 修士課程1年 | 海水のバリウム同位体：新しい水塊追跡のトレーサー | 790,000 |
| 36 | 中村 賢一 | 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻 | 博士後期課程3年 | 外洋貧栄養域生態系窒素再循環過程に果たす小型浮遊性カイアシ類の役割の解明 | 701,757 |
| 37 | 秋田 晋吾 | 神戸大学内海域環境教育研究センター | 学術研究員 | 遺伝子多様度が「海の森」の維持と形成に与える影響 | 860,000 |
| 38 | 塩澤 舞香 | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻 | 博士後期課程3年 | 定置網から脱出したウミガメの運動強度と心拍変動に関する研究－混獲回避手法の適切な評価を目的として－ | 640,000 |
| 39 | 片境 紗希 | 富山大学大学院理工学教育部地球生命環境科学専攻 | 博士課程1年 | 地下水の長期変化に伴う水・物質輸送の変化と沿岸海域への影響把握 -海底地下水湧出に着目して- | 660,000 |
| 40 | 近藤 智彦 | 東北大学大学院農学研究所生物海洋学分野 | 技術補佐員 | 2011年の津波攪乱後の蒲生干潟における底生生物群集と優占した多毛類・端脚類の生活史に関する研究 | 0 |
| 41 | 有田 蒔実子 | 近畿大学大学院農学研究所水産学専攻 | 博士前期課程1年 | ウミガメ類幼体の黒潮における受動回遊過程に関する研究 | 620,000 |
| 42 | 山本 慧史 | 三重大学大学院生物資源学研究所生物圏生命科学科 | 博士後期課程2年 | クリプト藻類 Rhodomonas sp.培養時に確認される退色現象のメカニズム解明に関する研究 | 495,870 |
| 43 | 張 圓昕 | 東京海洋大学大学院海洋資源環境学専攻 | 博士後期課程1年 | 北極海カナダ海盆域上層海洋酸化時空分布と影響因子 | 950,000 |
| 44 | 大竹 正弘 | 創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻 | 博士後期課程2年 | 褐藻類ノコギリモクのリン吸収および要求速度の周年変動に基づいた適切な栄養塩施肥の検証 | 660,000 |
| 45 | 浜本 洋子 | 甲南大学大学院自然科学研究科生命・機能科学専攻 | 博士後期課程3年 | 沿岸海域におけるラビリンチュラ類の海洋生態に与える影響力の解明 | 620,000 |
| 46 | Nguyen Thi Do Quyen | 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 | 博士課程3年 | 閉鎖性内湾における底生線虫群集の生態系機能解明のための形態分類と遺伝子配列データベースの構築 | 560,000 |
| 47 | 徐 鵬 | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻 | 博士後期課程2年 | 波力発電におけるパラメトリック励振の利用に関する実験的研究 | 338,402 |
| 48 | 池田 朱里 | 東京海洋大学大学院海洋資源環境学専攻 | 博士前期課程2年 | 定置網内におけるクロマグロとブリの超音波バイオテレメトリー手法を用いた行動解析 | 260,000 |
| 49 | 山内 洋紀 | 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 | 技術職員 | DNA バーコーディングを用いたハゼ亜目仔稚魚類の種同定と黒潮流域の沿岸・汽水域における出現状況 | 500,000 |
| 50 | 長谷川 万純 | 東京大学大気海洋研究所大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻 | 修士課程2年 | 海洋性植物プランクトンの光利用戦略：光合成生物が持つ第二の光利用機構の解明 | 560,000 |
| | | | | | 33,972,832 |

別表（４）２０１８年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 集会名称 | 発表題目 | 確定額 |
|-----|------------|-------------------------|-----------|---|--|---------|
| 1 | 森塚(松岡) かおり | 農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門 | 任期付研究員 | 10th International Symposium on Plant-Soil Interactions at Low pH (10th PSILPH) | Concentration of Natural Stable Cs in Each Organ of Blueberry Bushes Grown in Three Types of Soils Treated with Acidification and/or Fertilization | 130,000 |
| 2 | 高尾 信太郎 | 国立極地研究所生物圏研究グループ | 助教 | Marine Ecosystem Assessment for the Southern Ocean | Long-term variation of phytoplankton chlorophyll a in the Indian sector of the Southern Ocean | 155,777 |
| 3 | 今山 武志 | 岡山理科大学自然科学研究所 | 准教授 | Asia Oceania Geoscience Society 15th Annual Meeting | 1.74 Ga felsic magmatism formed via crustal melting: Investigation of mylonitic orthogneisses in the frontal zone of the Kathmandu Complex, central Nepal | 239,611 |
| 4 | 福井 浩二 | 芝浦工業大学システム理工学部生命科学科 | 教授 | 19th Biennial Meeting Society for Free Radical Research International | Influx of calcium ions accelerates neurite degeneration via induction of microtubule destabilization | 300,000 |
| 5 | 竹花 佑介 | 長浜バイオ大学 | 准教授 | 8th International Symposium on Vertebrate Sex Determination | Gsdf-independent male determination pathway in a medaka fish, <i>Oryzias hubbsi</i> | 230,000 |
| 6 | 田中 嘉法 | 電気通信大学大学院情報理工学研究科 | 博士研究員 | American College of Sports Medicine 65th Annual Meeting | Effects of lactate administration on intracellular pH and contractile performance during rhythmic muscle contractions | 200,000 |
| 7 | 玉水 玲央 | 早稲田大学政治学研究科政治学専攻 | 博士後期課程 3年 | International Studies Association | To Ally or Not To Ally? : Small Ally's Cooperation and Non-Cooperation with the Leading Ally and Politics of Asia-Pacific Alliances | 50,000 |
| 8 | 星 博幸 | 愛知教育大学教育学部自然科学系理科教育講座 | 准教授 | European Geosciences Union (EGU) General Assembly 2018 | 1. Dating the N7/N8 (M4/M5) planktonic foraminiferal zonal boundary 2. Magnetostratigraphy of an early Miocene sedimentary sequence in central Japan: implication for the age of the N7/N8 (M4/M5) planktonic foraminiferal zonal boundary | 200,000 |
| 9 | 羽曾部 卓 | 慶應義塾大学理工学部化学科 | 准教授 | 223rd The Electrochemical Society Meeting | Structural and Photophysical Properties of Pentacene-Based Self-Assembled Monolayers on Gold Nanomaterials | 280,000 |
| 10 | 矢野 十織 | 東京慈恵会医科大学医学部解剖学講座 | 助教 | The fifth conference "Interdisciplinary Approaches in Fish Skeletal Biology" | Morphological and functional joint formation in zebrafish fins | 280,000 |
| 11 | 勝間田 高明 | 東海大学海洋学部 | 講師 | Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 15th Annual Meeting | Long Term Measurement of the Current at the Bay Head in the Suruga Bay, Japan | 180,000 |
| 12 | 北野 裕子 | 国立環境研究所生物・生態系環境研究センター | 特別研究員 | The 4th Asia-Pacific Coral Reef Symposium | Molecular phylogeny and Morphological variation of <i>Euphyllia ancora</i> | 90,000 |
| 13 | 新川 はるか | 京都大学大学院生命科学研究所 | 博士後期課程 3年 | 18th International Conference on the Cell and Molecular Biology of <i>Chlamydomonas</i> | Algal protein kinase TAR1 modulates cellular viability and promotes gametogenesis in carbon/nitrogen imbalance conditions | 220,000 |
| 14 | 永井 平 | 東京大学大学院理学系研究科 | 特任研究員 | Asia Oceania Geosciences Society, 15th Meeting | Effects of the Indonesian Throughflow on the Generation and Propagation of Internal Tides in Lombok Strait | 180,000 |
| 15 | 北田 昇雄 | 電気通信大学 | 博士後期課程 3年 | 20TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON BIOLUMINESCENCE AND CHEMILUMINESCENCE | Advantage of NIR bioluminescence for in vivo imaging | 250,000 |
| 16 | 金川 哲也 | 筑波大学システム情報系 | 助教 | 47th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering | High Speed and Weakly Nonlinear Propagation of Quasi-Monochromatic Acoustic Waves in Bubbly Liquids | 240,000 |
| 17 | 沈 雨香 | 早稲田大学大学院教育研究科 | 博士後期課程 5年 | Fifth World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES) | Women and Higher Education in the Gulf | 234,000 |

別表（４）２０１８年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 集会名称 | 発表題目 | 確定額 |
|-----|--------|-------------------------|------------------|--|--|---------|
| 18 | 西上 幸範 | 京都大学大学院理学研究科時空間秩序教室 | 日本学術振興会特別研究員(PD) | Phycological Society of America and International Society of Protistologists Conference 2018 | Sliding behavior of Tetrahymena pyriformis near a wall | 152,000 |
| 19 | 大城 武史 | 東京大学 | 特任研究員 | Federation of European Neurosciences Societies | Timing of phase amplitude coupling in the temporal pole is essential for neuronal and functional maturation in adolescence | 240,000 |
| 20 | 小柳 えり | 川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科 | 助教 | 23rd Annual Congress of the European College of Sport Science | The Preventive Effect of Voluntary Physical Exercise on Mental Disorders in High-Fat-Diet-Mice | 298,000 |
| 21 | 椎野 勇太 | 新潟大学 | 准教授 | 8th International Brachiopod Congress | Form and function of fossil brachiopods: Insights into evolutionary morphology | 262,000 |
| 22 | 林 慶 | 岡山理科大学獣医学部 | 助教 | 14th International congress of parasitology | Mesocostoides vogae penetrates host intestinal tissue wall while expressing potential suppressor of host inflammation | 142,607 |
| 23 | 荒木 優希 | 京都大学大学院工学研究科 | 特定助教 | Goldschmidt 2018 | Particular effect of Mg ²⁺ on hydration structure at calcite surface | 194,000 |
| 24 | 宇津川 喬子 | 立正大学地球環境科学部地理学科 | 助教 | the 20th International Sedimentological Congress | Effects of rock type and grain size on changes in roundness of gravel and sand grains during fluvial transport process | 300,000 |
| 25 | 中村 真男 | 東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科 | 助教 | 29th International Carbohydrate Symposium (ICS2018) | Characterization of the sulfated glycan-binding specificities of human lactoferrin and its derivative | 209,770 |
| 26 | 得平 茂樹 | 首都大学東京大学院理学研究科生命科学専攻 | 准教授 | 16th International Symposium on Phototrophic Prokaryotes | DevH is a global regulator of the heterocyst-specific genes that are upregulated at the later stage of differentiation. | 265,874 |
| 27 | 伊藤 悦子 | 高知大学教育研究部自然科学系理学部門 | 非常勤講師 | The 36th International Symposium on Lattice Field Theory | Two-color QCD at low temperature and high density using exact algorithm | 240,000 |
| 28 | 並河 英紀 | 山形大学理学部理学科非線形化学研究室 | 教授 | Gordon Research Conference "Decrypting and Controlling Self-Organized Structures Through Theories and Experiments" | Chemical Control of Pattern Formation in Precipitation Systems | 256,000 |
| 29 | 早川 麻美子 | 日本大学理工学部理工学研究所 | 研究員 | 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry | Photochemical addition of alcohols to olefins using sunlight and di-tert-butyl peroxide | 288,000 |
| 30 | 山根 隆宏 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科こころ系講座 | 准教授 | 25th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development | Effects of online social support on psychological stress response among parents of children with autism spectrum disorders | 266,000 |
| 31 | 井川 純一 | 大分大学 | 准教授 | 126th Annual Convention of American Psychological Association 2018 | Examination of the Development of Typical Burnout Using a Behavioral Experiment | 192,000 |
| 32 | 秋月 真一 | 創価大学理工学部 | 助教 | The 2nd International Conference on Bioresource Technology for Bioenergy, Bioproducts & Environmental Sustainability (BIORESTEC) | The effect of different light intensities on nitrification process: comparison of dispersed and granulated sludges | 268,000 |
| 33 | 山口 創一 | 九州大学総合理工学研究院 | 助教 | ECSA 57 | Mechanism of red tide outbreaks in winter in the western area of the inner Ariake Sea | 180,000 |
| 34 | 志垣 智子 | 社会福祉法人敬友会高齢者住宅研究所 | 研究員 | Eighth International Conference on Health, Wellness & Society | Evaluating Emergency Services in the Service-added Older Adults housing in Osaka City Japan: A Case Study | 140,000 |

別表（４）２０１８年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 集会名称 | 発表題目 | 確定額 |
|-----|-------------------|-----------------------------|-------------------|---|--|---------|
| 35 | 熊谷 孝司 | G・A ホールディングス株式会社 | | The 17th World Sanskrit Conference | The place of Utpāta-lakṣaṇa (chapter 39 of Gārgīyayotiṣa) in divination literature | 216,000 |
| 36 | 宮本 明子 | 同志社女子大学 | 助教 | International Conference on Social Science and Business | Three Times or More: The Appearances of John Ford's Impacts in Yasujiro Ozu's Films | 142,000 |
| 37 | 陳 ロ | 東京外国語大学大学院 | 博士後期課程 5 年 | The 12th International ACS Crossroads in Cultural Studies Conference | Translating and Transforming the concept of 'Liberty' in Meiji period | 122,000 |
| 38 | KARUSIGARIRAIAN | 東京外国語大学大学院総合国際学研究科 PCS コース | 博士課程 2 年 | IUAES 18th World Congress | The Elderly, Spiritualism and Social Power among Buhororo Tribal Societies in Uganda | 235,822 |
| 39 | 伊藤 岳 | 大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻 | 博士後期課程 1 年 | ISBE(International Society for Behavioral Ecology) 2018 | The parallel evolution of sperm characteristics and fine structure in sculpins driven by copulatory behavior and sperm competition | 258,000 |
| 40 | 木村 駿太 | 筑波大学生命環境系 | 日本学術振興会特別研究員 (PD) | 42th COSPAR Scientific Assembly | Functional substances which contribute to dry heat tolerance of a terrestrial cyanobacterium Nostoc sp. HK-01 | 270,670 |
| 41 | Hoang Nam Hai | 東京工業大学 | 博士課程 5 年 | Gordon Research Seminar and Gordon Research Conference in Biocatalysis | Utilize pressurized carbon dioxide as novel and sustainable reaction platforms for biocatalysis | 186,000 |
| 42 | AFIFAYAUKOESOE MA | 東京工業大学生命理工学院 | 博士課程 4 年 | Gordon Research Seminar and Gordon Research Conference Biocatalysis | Substrate Binding Pocket Interaction Determines Enantioselectivity of Alcohol Dehydrogenase | 206,000 |
| 43 | 鈴木 麻菜美 | 国立音楽大学大学院音楽研究科 | 博士後期課程 3 年 | ICTM Joint Symposium of the Study Group on Music and Minorities and the Study Group on Music and Gender | Turkish religious tradition relocated to Vienna, Austria: Re-creation and transmission of Alevi music and semah among the migrants | 128,000 |
| 44 | 安田 裕紀 | 神戸大学内海環境教育研究センター | 講師 (研究機関研究員) | VII International Workshop on Collapse Calderas | The origin of a coarse lithic breccia sheet and its implication for the formation of small calderas | 120,000 |
| 45 | 武田 紘平 | 筑波大学体育系運動生理学研究室 | 特任助教 | INTERNATIONAL CONFERENCE ON ADAPTATIONS AND NUTRITION IN SPORTS (ICANS) | Effects of Maternal Diet and Voluntary Running on Mitochondria in Skeletal Muscle of Female Offspring | 98,000 |
| 46 | 村田 圭代 | 東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻 | 博士課程 5 年 | 18th Biennial International Conference on Baroque Music | The Early Development of J. S. Bach's Contrapuntal Writing in His Instrumental Music | 220,000 |
| 47 | 李 哲揆 | 理化学研究所バイオリソース研究センター微生物材料開発室 | 特別研究員 | ISME17 Leipzig | An anaerobic bacteria involved in suppressive of tomato bacterial wilt symptom discovering by soil bacterial information | 300,000 |
| 48 | 森 郁晃 | 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 | 博士課程 5 年 | ISME17 (International Society for Microbial Ecology) | Response of sediment bacterial community composition to seasonal hypoxia in an enclosed bay (Omura Bay, West Kyushu, Japan) | 260,000 |
| 49 | 西海 望 | 基礎生物学研究所神経生理学研究室 | NIBB リサーチフェロー | The 18th International Meeting on Information Display | Application of 3D display based on motion parallax to research of animal behavior | 155,412 |
| 50 | 野口 舞子 | お茶の水女子大学基幹研究院 | リサーチフェロー | The Fifth World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES) | Preacher or agitator? The life and influence of al-Qāḍī 'Iyāḍ | 178,000 |
| 51 | 神田 真司 | 東京大学大学院理学系研究科 | 准教授 | Intercongress of the Asia and Oceania Society for Comparative Endocrinology | Role of GnRH in the gonadotropin release: changes during vertebrate evolution | 168,057 |

別表（４）２０１８年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 集会名称 | 発表題目 | 確定額 |
|-----|--------|--------------------------------|------------------|--|--|---------|
| 52 | 吉田 早悠里 | 南山大学 国際教養学部 | 准教授 | 20th International Conference of Ethiopian Studies | The collection of F.J.Bieber and Kafa society at the beginning of the 20th century | 101,706 |
| 53 | 丸山 龍治 | 日本原子力 研究開発機構 J-PARC センター | 研究副主幹 | Physics of X-ray and neutron multilayer structures 2018 | Recent progress in the development of neutron polarizing supermirror at J-PARC | 198,636 |
| 54 | 宋 苑瑞 | 早稲田大学 教育学部 | 非常勤講師 | American Geophysical Union (AGU) | A linkage of biological covers, surface strength, and exfoliation: A case of the first gallery in Angkor Wat temple, Cambodia | 105,000 |
| 55 | 宮地 悟代 | 東京農工大学大学院工学研究科先端物理工学部門 | 准教授 | International Conference on Ultrafast Optical Science (UltrafastLight-2018) | Controlling of plasmon damping on nonmetallic gratings excited with intense femtosecond laser pulses | 189,746 |
| 56 | 森 龍也 | 筑波大学数理工学物質系物質工学域 | 助教 | D-Photon 2018 (1st International Conference on Dielectric Photonic Devices and Systems Beyond Visible) | Terahertz spectroscopic study on universal behavior of glassy materials -boson peak and fractal dynamics- | 169,000 |
| 57 | 刀祢 和樹 | 長崎大学水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻 | 博士後期課程 2 年 | The Fourth Climate Impacts on Top Predators (CLIOTOP) Symposium | How do ectothermic fishes use different temperature condition? | 75,417 |
| 58 | 佐々木 俊介 | 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 | 非常勤研究員 | International Solid Waste Association World Congress 2018 | Dumpsite informal recycling system, its contribution to the environment, and the income level of waste pickers: The case of Bantar Gebang, Indonesia | 65,000 |
| 59 | 高原 英生 | 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構 | 主任連携研究員 | Cephalopod International Advisory Council Conference | Effect of temperature on growth and sexual maturation in the young Japanese flying squid, <i>Todarodes pacificus</i> | 212,000 |
| 60 | 小林 史幸 | 日本獣生命科学大学 | 講師 | IDF world Dairy Summit 2018 | Pasteurization and changes of casein in bovine milk by low-pressure carbon dioxide microbubbles | 68,000 |
| 61 | 久保田 夏子 | 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 | 特任助教 | Neuroscience 2018 (SfN's 48th annual meeting) | Housing conditions influence characteristic of voluntary exercise and brain monoamine levels in laboratory rats | 154,000 |
| 62 | 山崎 敦子 | 筑波大学生命環境系動物系統分類学教室 | 日本学術振興会特別研究員 RPD | Developmental Biology of the Sea Urchin XXV Meeting | Evolution of larval skeletogenic mechanism in echinoderm: insights from pmar1/micro1 genes | 164,920 |
| 63 | 阿部 達雄 | 鶴岡工業高等専門学校 | 助教 | SETAC North America 39th Annual Meeting | Daphnia magna assay application to toxicity of nickel compounds | 168,000 |
| 64 | 山本 亮 | 金沢医科大学生理学 1 | 講師 | Neuroscience 2018 (48th Annual Meeting of Society for Neuroscience) | Serotonergic modulation on the inhibitory synaptic transmission in the lateral amygdala | 211,000 |
| 65 | 吉田 和人 | 広島大学大学院工学研究科応用化学専攻反応設計化学研究室 | 准教授 | International Congress on Pure & Applied Chemistry Langkawi (ICPAC Langkawi) 2018 | Anthranilamide (aam)-Substituted Diboron: Palladium-Catalyzed Selective B(aam) Transfer | 83,000 |
| 66 | 岸 正敏 | 創価大学理工学部 | 助教 | Algae Biomass Summit 2018 | Gas-permeating bag reactor for energy-efficient oxygen removal in microalgal high-density culture | 216,000 |
| 67 | 水田 賢志 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子標的医学研究センター | 助教 | 19th International Congress on Pure & Applied Chemistry | Synthesis of novel Terpyridine Derivative Proligands for Measuring of Cytotoxicity Mediated by Immune Cells | 90,000 |

別表（４）２０１８年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

| No. | 助成者名 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 集会名称 | 発表題目 | 確定額 |
|-----|-------|--------------------------|-----------|--|---|------------|
| 68 | 松田 晃史 | 東京工業大学物質理工学院材料系 | 講師 | 2018 MRS Fall Meeting & Exhibit | Solid-phase heteroepitaxy and synchrotron radiation analyses of β -Ga ₂ O ₃ thin films fabricated by room-temperature laser processes | 224,000 |
| 69 | 中川 健一 | 宇都宮大学 | 技術職員 | 29th International Symposium on Transport Phenomena | Effect of the Gaps of a Badminton Shuttlecock on the Aerodynamic Stability | 136,000 |
| 70 | 伊東 雄樹 | 明治大学大学院 | 博士後期課程 3年 | 2018-2019 International Soils Meeting | Prediction of Coupled Water and Heat Transfer in Unsaturated Soil Applied Various Amount and Temperature of Water for Hot Water Soil Disinfection | 112,316 |
| 71 | 谷口 友梨 | 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター | 研究員 | International Convention of Psychological Science | How Does Psychological Distance Influence the Willingness to Help the Victim of an Accident? Discrepancy between Implicit and Explicit Inferences | 188,000 |
| 72 | 今井 喜胤 | 近畿大学 | 准教授 | Pure and Applied Chemistry International Conference 2019 (PACCON 2019) | Non-classical control of circularly polarized luminescence (CPL) of chiral luminophores | 137,000 |
| | | | | | | 13,686,341 |

別表（5）2017年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表

| No. | 研究領域 | 助成者名 | 性別 | 国籍 | 所属機関：名称 | 所属機関：職名 | 研究課題 |
|-----|---------|--------|----|----|----------------------------------|----------|---|
| 1 | 人文・社会 | 鈴木 麻菜美 | 女 | 日本 | 国立音楽大学大学院音楽研究科音楽研究専攻 | 博士後期課程3年 | 宗教的マイノリティのアイデンティティによる社会的環境の変化と音楽文化への影響に関する研究—イスラム教神秘主義アレグー派のオーストリアにおける事例 |
| 2 | 人文・社会 | 横塚 彩 | 女 | 日本 | 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻 | 博士課程4年 | 大型類人猿ボノボに対する住民意識の多義化—コング民主共和国民族集団ボングンドのボノボに対する食物禁忌とその変容に着目して— |
| 3 | 数物・工学 | 清水 麻里 | 女 | 日本 | 芝浦工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻 | 修士課程2年 | 超音速フリージェットPVDによるナノ結晶窒化アルミニウム厚膜の開発 |
| 4 | 数物・工学 | 三井 真吾 | 男 | 日本 | 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構 | 博士研究員 | SOIビクセル検出器を用いた高速X線硬さ試験機の開発 |
| 5 | 化学 | 松井 康哲 | 男 | 日本 | 大阪府立大学大学院工学研究科 | フェニックス助教 | 分子内三重項-三重項消滅を利用したフォトンアップコンバージョンの高効率化 |
| 6 | 化学 | 田中 将道 | 男 | 日本 | 慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻 | 博士課程1年 | ボロン酸を用いた無保護糖アセターに対する位置・立体選択的1,2-cis- α - β -グリコシル化反応の開発 |
| 7 | 生物 | 森中 初音 | 女 | 日本 | 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 | 修士課程2年 | トリアキ断片培養系を用いた不定芽形成初期過程の解析 |
| 8 | 生物 | 織田 麻衣 | 女 | 日本 | 長浜バイオ大学 | 特別任用助手 | 脊椎動物TRPA1の高温感受性の分子機構に関する研究 |
| 9 | 生物 | 升本 宙 | 男 | 日本 | 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻 | 博士後期課程1年 | 菌類-藻類間相互作用機構の解明に向けたモデル共培養系の探索 |
| 10 | 生物 | 伊藤 岳 | 男 | 日本 | 新潟大学理学部附属臨海実験所 | 博士前期課程2年 | 海産ガジ科魚類の精子の形態と運動性の種間比較：交尾行動と精子競争が駆動する精子の進化 |
| 11 | 複合 | 大山 奈津子 | 女 | 日本 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻医薬品情報学分野 | 博士課程2年 | 外部刺激を利用した腎臓選択的遺伝子導入における組織内空間分布の評価とその制御 |
| 12 | 複合 | 金 睿麟 | 女 | 韓国 | 千葉大学大学院園芸学研究科 | 博士後期課程2年 | 韓国伝統庭園「別墅」のGISを用いた領域分析と空間構成に関する研究—アジア庭園基礎研究— |
| 13 | 海洋・船舶科学 | 米田 翔太 | 男 | 日本 | 神戸大学海事科学研究科 | 博士後期課程3年 | 係留強化による港湾停泊船舶の津波防災に関する研究 |
| 14 | 海洋・船舶科学 | 李 勃豊 | 女 | 中国 | 北海道大学大学院環境科学院地球圏科学専攻 | 博士後期課程4年 | 北太平洋高緯度海域における海水中人為的な全無機炭素循環の変動に関する研究：パラメトリゼーション技術の応用と海水中炭酸物質の準リアルタイムなマッピングの展開 |
| 15 | 実践 | 土岐 文乃 | 女 | 日本 | 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 | 助教 | 限界集落における地域交流施設の持続的な運営のための研究—宮城県石巻市雄勝町波板地域交流センターを事例として— |
| 16 | 実践 | 松本 育子 | 女 | 日本 | 刈谷市美術館 | 館長代理(係長) | 子どもの絵本体験を促進する活動支援に関する実践研究—大学・美術館・図書館・科学館の相互連携による新たな活動モデルを目指して— |

別表（6）2018年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表

（単位：冊数）

| No. | 寄贈対象大学 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 |
|-----|-----------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 5月 | 6月 | 11月 | 11月 | 3月 | 3月 |
| 1 | 南京大学 | | 891 | | | 28 | 285 |
| 2 | 江南大学 | | | | | | 24 |
| 3 | 上海交通大学 | | 2,031 | | | 67 | 77 |
| 4 | 上海海事大学 | | 99 | | | | |
| 5 | 寧波大学 | | 451 | | | 149 | 519 |
| 6 | 蘭州大学 | | 186 | | | 53 | 62 |
| 7 | 貴州大学 | | 124 | | | | 300 |
| 8 | 雲南大学 | | 458 | | | 189 | 634 |
| 9 | 広西師範大学 | | 27 | | | 25 | |
| 10 | 吉林大学珠海学院 | | 4,984 | | | 1,164 | 6,635 |
| 11 | 哈爾濱医科大学 | 30 | | | | | |
| 12 | 黒龍江大学 | 52 | | | | | 72 |
| 13 | 延辺大学 | 441 | | 260 | 809 | | 263 |
| 14 | 吉林大学 | 212 | | | | | |
| 15 | 東北師範大学 | 837 | | 361 | 627 | | 596 |
| 16 | 北華大学 | 13 | | 37 | 108 | 19 | 91 |
| 17 | 中国医科大学 | | | | | 42 | 103 |
| 18 | 大連外国語大学 | 325 | | 442 | 1,377 | 41 | 1,408 |
| 19 | 遼寧師範大学 | 66 | | 25 | | | 22 |
| 20 | 大連医科大学 | 30 | | 119 | | 25 | 85 |
| 21 | 大連海事大学 | 33 | | 7 | | | |
| 22 | 大連理工大学 | 188 | | 326 | | 123 | 324 |
| 23 | 遼寧对外経貿学院 | 7 | | 99 | 436 | 97 | 82 |
| 24 | 大連民族大学 | 688 | | 220 | | 18 | 271 |
| 25 | 瀋陽師範大学 | 24 | | | | 19 | 22 |
| 26 | 渤海大学 | 487 | | 714 | | 702 | 123 |
| 27 | 内蒙古大学 | | | | | | 54 |
| 28 | 内蒙古師範大学 | 37 | | | 34 | 58 | 767 |
| 29 | 青海民族大学 | | | | 573 | | |
| 30 | 東北大学秦皇島分校 | 27 | | 104 | | | 222 |
| 31 | 清華大学 | | | 37 | 106 | | |
| 32 | 北京大学 | 22 | | | 26 | | |
| 33 | 中国人民大学 | 38 | | | | | 32 |
| 34 | 中国社会科学院 | | 4 | | | | 8 |
| 35 | 中国農業大学 | 164 | | 185 | | 123 | 504 |
| 36 | 天津師範大学 | 32 | | | | | |
| 37 | 山東大学 | 115 | | | | | 54 |
| 38 | 山東大学（威海） | | | | 27 | 21 | 86 |
| 39 | 中国海洋大学 | 21 | | 54 | 552 | 16 | 60 |
| 40 | 華東師範大学 | 43 | | | | 3,569 | |
| 41 | 上海師範大学 | 136 | | | 420 | 53 | 531 |
| 42 | 上海外国語大学 | 7,655 | | 3,634 | 1,121 | 3,719 | 7,811 |
| 43 | 華東理工大学 | 513 | | 60 | 323 | 79 | 351 |
| 44 | 復旦大学 | 125 | | 54 | | 136 | 917 |
| 45 | 浙江越秀外国語学院 | 1,003 | | 286 | 1,003 | 55 | 431 |
| 46 | 嘉興学院 | 3,321 | | | | | 89 |
| 47 | 井岡山大学 | 914 | | 832 | 1,564 | 319 | 2,359 |
| 48 | 中南財経政法大学 | 221 | | | | 127 | 131 |
| 49 | 武漢大学 | 80 | | | 25 | 13 | 78 |
| 50 | 湖南大学 | 1,391 | | 192 | 73 | 62 | 115 |
| 51 | 雲南民族大学 | 126 | | 165 | 57 | 119 | 164 |
| 52 | 雲南大学滇池学院 | 23 | | 26 | | | 154 |
| | 回数別寄贈合計 | 19,440 | 9,255 | 8,239 | 9,261 | 11,230 | 26,916 |
| | 寄贈合計 | | | | | | 84,341 |

別表(7) 2018年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

| No. | 氏名 | 学校名 | 学年 | 性別 | 研究テーマ | メンター/アシスタント氏名 | 所属先 |
|-----|---------|-----------------|-----|----|---------------------------------------|--------------------|----------------------|
| 1 | 河島 真冬 | 茨城県立並木中等教育学校 | 4年生 | 女 | シロツメクサの就眠運動について | 中嶋 信美 | 国立環境研究所 |
| 2 | 木上 晴登 | 広島県立広島国泰寺高等学校 | 1年生 | 男 | オジギソウの葉が閉じなくなる現象について | 長谷部 光泰 真野 弘明 | 基礎生物学研究所 基礎生物学研究所 |
| 3 | 熊澤 有紗 | 東京農業大学第一高等学校 | 1年生 | 女 | 粘菌は菌類と共生出来るのか | 出川 洋介 吉橋 佑馬 | 筑波大学 筑波大学 |
| 4 | 大山 淳史 | 攻玉社高等学校 | 1年生 | 男 | クロオオアリの栄養の貯蔵と共有 | 長谷川 英祐 | 北海道大学 |
| 5 | 川口 聡貴 | 灘高等学校 | 2年生 | 男 | 新規骨格の発光材料を作ろう! | 若宮 淳志 | 京都大学 |
| 6 | 伊藤 颯矢 | 宮城県古川黎明高等学校 | 2年生 | 男 | 回折格子を用いた流星の分光観測 | 山本 真行 | 高知工科大学 |
| 7 | 杉原 悠太 | 名古屋大学教育学部附属高等学校 | 1年生 | 男 | 気象衛星の画像解析から求めた月と地球の軌道 | 三浦 裕一 | 名古屋大学 |
| 8 | 上田 涼太 | 東京都立小松川高等学校 | 2年生 | 男 | 銅樹の成長速度と溶液の関係について | 芹澤 信幸 | 慶應大学 |
| 9 | 久保田 くるみ | 法政大学第二高等学校 | 2年生 | 女 | カルボン酸とアルコールによるエステル合成 | 西野 貴司 | 北里大学 |
| 10 | 平沼 昌太郎 | 開成高等学校 | 2年生 | 男 | ラットの恐怖条件付け、文脈に焦点を当てた消去過程 | 山田 一夫 | 筑波大学 |
| 11 | 池部 璃奈 | 順天高等学校 | 1年生 | 女 | ニンニクの抗菌性に対する食物中の乳酸菌の耐性の違い | 岩室 祥一 小川 大輔 | 東邦大学 東邦大学 |
| 12 | 長島 大来 | 渋谷教育学園幕張高等学校 | 1年生 | 男 | 甲虫の歩行について | 菊地デイル万次郎 | 東京工業大学 |
| 13 | 本坊 優吾 | 東海大学付属望星高等学校 | 3年生 | 男 | 音力発電における集音機構最適化に関する研究 ~発電都市Tokyoを目指して | 中嶋 宇史 橋爪 洋一郎 | 東京理科大学 東京理科大学 |
| 14 | 沼尾 侑亮 | 攻玉社高等学校 | 2年生 | 男 | 自然史標本としての標本の活用 | 川田 伸一郎 | 国立科学博物館 |
| 15 | 飯田 和生 | 安田学園高等学校 | 2年生 | 男 | セイヨウミツバチは人工甘味料を飲むのか? | 岡田 龍一 | 神戸大学 |
| 16 | 城間 理沙 | 東京都立戸山高等学校 | 2年生 | 女 | スカートめくり!? ~めくれないスカートの開発~ | 大井 みさほ | 東京学芸大学名誉教授 |
| 17 | 清水 杏 | 土佐塾高等学校 | 2年生 | 女 | 唇を科学する! 一唇を美しくするための解析 | 柴田 雅史 | 東京工科大学 |
| 18 | 清水 大河 | 大阪府立長野北高等学校 | 3年生 | 男 | 大阪湾を豊かにするための石仏鉱泉活用法 | 中口 譲 辻 直樹 | 近畿大学 近畿大学 |
| 19 | 今井 裕来 | 東京都立戸山高等学校 | 2年生 | 女 | 色あせの原因を探る | 永澤 明 | 埼玉大学名誉教授 |
| | 19名 | 17校 | | | | メンター:20名、アシスタント:3名 | |

別表（8）役員名簿

（2019年3月31日現在）

| 役職 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 就任年月日 | 担当職務 | 現職 (専門分野) |
|------|--------|--------|----------------|------------------|--|
| 会長 | 非常勤 | 大島 美恵子 | 2012年 4月1日 | 業務の議決 ・執行等 | 東北公益文科大学名誉教授 (生物化学) |
| 常務理事 | 常勤 | 石倉 康弘 | 2018年 6月15日 | 会長補佐 日常業務の執行等 | (公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務) |
| 同 | 同 | 佐々木 文君 | 2017年 6月28日 | 日常業務の執行等 | (公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務) |
| 理事 | 非常勤 | 川口 春馬 | 2012年 4月1日 | 業務の議決・執行等 | 神奈川大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成) |
| 同 | 同 | 木村 龍治 | 同 | 同 | 東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学) |
| 同 | 同 | 高橋 正征 | 同 | 同 | 東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学) |
| 同 | 同 | 和崎 春日 | 同 | 同 | 中部大学国際関係学部教授 (文化人類学) |
| 同 | 同 | 山崎 壮 | 2016年 6月10日 | 同 | 実践女子大学生生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学) |
| 監事 | 非常勤 | 菅井 明則 | 同 | 業務執行等の監査 | (公財)笹川平和財団常務理事 |

- ・第8回評議員会（2018年6月15日開催）において、中村健治氏が常務理事を退任した。
- ・第8回評議員会（2018年6月15日開催）において、石倉康弘氏が新たに理事に選任され、第21回理事会（同日開催）において常務理事に選定された。
- ・第8回評議員会（2018年6月15日開催）において、西本克己氏が監事を退任した。

別表（9）評議員名簿

（2019年3月31日現在）

| 役職 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 就任年月日 | 担当職務 | 現職 (専門分野) |
|-----|--------|--------|-----------------|--------|--|
| 評議員 | 非常勤 | 梶 英輔 | 2012年 4月1日 | 決算の承認等 | 北里大学名誉教授 (薬学、医薬品化学) |
| 同 | 同 | 門野 泉 | 同 | 同 | 清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学) |
| 同 | 同 | 梅干野 晃 | 同 | 同 | 放送大学客員教授 東京工業大学名誉教授 (都市建築環境工学) |
| 同 | 同 | 渡邊 雄一郎 | 同 | 同 | 東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学) |
| 同 | 同 | 今里 智晃 | 2016年 6月10日 | 同 | 広島大学名誉教授 (辞書学) |
| 同 | 同 | 西原 祥子 | 同 | 同 | 創価大学理工学部共生創造理工学科教授 (糖鎖生物学) |
| 同 | 同 | 前野 隆司 | 同 | 同 | 慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント学科 教授 (システムデザイン・マネジメント、ロボティクス、幸福学、感動学、協創学等) |
| 同 | 同 | 前田 晃 | 2017年 11月14日 | 同 | (公財)日本財団専務理事 |

2018年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2019年 5月14日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 大島 美恵子

2018年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2019年 5月21日

公益財団法人 日本科学協会

監事 菅井明則 印